

2028年度入試(4月入学)

多様な選抜 出願資格・推薦基準・選抜方法等 (予告)

○ 学校推薦型選抜	一般推薦入試	P. 1
○ 学校推薦型選抜	指定校推薦入試	P.12
○ 学校推薦型選抜	高校特定型特別推薦入試	P.17
○ 学校推薦型選抜	都立工科高校等特別推薦入試	P.19
○ 総合型選抜	ゼミナール入試	P.20
○ 総合型選抜	科学オリンピック入試	P.22
○ 総合型選抜	グローバル人材育成入試	P.25
○ 総合型選抜	SAT／ACT・IB入試	P.32
○ 総合型選抜	研究室探検入試	P.33
○ 総合型選抜	情報Ⅰ・Ⅱ利用入試	P.34
○ 総合型選抜	T-GLIPs入試Ⅰ	P.35
○ 総合型選抜	T-GLIPs入試Ⅱ	P.43
○ 特別選抜	社会人入試	P.44
○ 特別選抜	帰国子女入試	P.45
○ 特別選抜	私費外国人留学生入試	P.51

2028 年度一般推薦入試(出願資格・推薦基準・選考方法等)

人文社会学部 【2026 年 7 月 10 日変更分】赤字部分 【2026 年8月 20 日変更分】青字部分

人間社会学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 日本国内に所在する高等学校等(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者で、当該学校長が推薦するもの (2) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 (※)高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)以外の学校が推薦を希望する場合は、事前協議を行う。 推薦基準 次のいずれかに該当する者 (1) 高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が 4.0 以上 (2) 高等学校等入学時から出願時までの外国語(英語)の学習成績の状況、国語の学習成績の状況及び地歴公民の数値(地歴の科目及び公民の科目の評定を合算し、その評定数で除した値を指す。)の平均が 4.3 以上 (3) 高等学校等入学時から出願時までの外国語(英語)の学習成績の状況、国語の学習成績の状況及び数学の学習成績の状況の平均が 4.3 以上 選考方法 第一次選考(調査書、推薦書及び志望理由書による書類選考)と第二次選考(小論文、面接(口頭試問を含む。))及び大学入学共通テスト成績)に分けて選考する。 大学入学共通テストの受験科目は、人間社会学科前期日程試験と同一である。
--------	---

2028 年度一般推薦入試(出願資格・推薦基準・選考方法等)

人文学科

出願資格
次の要件をすべて満たす者
(1) 日本国内に所在する高等学校等(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者で、当該学校長が推薦するもの
(2) 合格した場合、本学への入学を確約できる者
(※) 高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)以外の学校が推薦を希望する場合は、事前協議を行う。

推薦基準
次の(1)から(3)のいずれかに該当し、さらに(4)の要件を満たす者
(1) 高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が 4.0 以上
(2) 高等学校等入学時から出願時までの外国語の学習成績の状況、国語の学習成績の状況及び地歴公民の数値(地歴の科目及び公民の科目の評定を合算し、その評定数で除した値を指す。)の平均が 4.3 以上
(3) 高等学校等入学時から出願時までの外国語の学習成績の状況、国語の学習成績の状況及び数学の学習成績の状況の平均が 4.3 以上
(4) 次の外部外国語検定試験のいずれかのスコアを有する者【注】

<英語>

・ケンブリッジ英語検定	120 以上(※1)
・実用英語技能検定	準2級 1700 以上(※2)
・GTEC(Core, Basic, Advanced, CBT)	680 以上(※3)
・IELTS	4.0 以上(※4)
・TEAP	135 以上
・TOEFL iBT	42 以上(※5)(2026 年 1 月 20 日以前受験) 2.0 以上(※5)(2026 年 1 月 21 日以降受験)
・TOEIC L&R/TOEIC S&W	625 以上(※6)

(※1)対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。
指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。
(※2)準2級プラス 1700 以上、2級 1728 以上、準1級 1980 以上、1級 2304 以上でも可。
各級の指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview 方式についても有効とする。
(※3)GTEC(Core, Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。
(※4)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。
(※5)Test Date スコアのみを有効とする。
(※6)TOEIC L&R/TOEIC S&W は、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算する。

<独語>

・ドイツ語技能検定試験(独検)	3級以上
・GOETHE-ZERTIFIKAT	A2 以上 (※7)

(※7)GOETHE-ZERTIFIKAT A2: FIT IN DEUTSCH/ゲーテ・ドイツ語検定試験 A2 でも可。

<仏語>

・実用フランス語技能検定試験(仏検)	準2級以上
・DELFI/DELF ジュニア	A2 以上

<中国語>

・中国語検定(中検)	準4級以上
・HSK(漢語水平考試)	2級以上

【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。
各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。

選考方法
第一次選考(調査書、推薦書、志望理由書及び外部外国語検定試験スコアによる書類選考)と第二次選考(面接(口頭試問を含む。))に分けて選考する。

その他
入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、人文学科前期日程試験と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は合否の判定には影響しないが、受験をしなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。

2028 年度一般推薦入試(出願資格・推薦基準・選考方法等)

理学部	
数理科学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 日本国内に所在する高等学校等(※)を 2028 年3月卒業見込みの者又は 2027 年4月以降に卒業した者で、当該学校長が推薦するもの
物理学科	(2) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 (※)高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)以外の学校が推薦を希望する場合は、事前協議を行う。 推薦基準 次の要件をすべて満たす者 (1) 自然科学(数理科学科の場合は、数学)に対する強い興味と旺盛な向学心を有する者 (2) 学力、人物ともに優秀である者
化学科	なお、高等学校等入学時から出願時までの外国語(英語)の学習成績の状況、数学の学習成績の状況、国語の学習成績の状況、理科の学習成績の状況、地歴の学習成績の状況、公民の学習成績の状況及び情報の学習成績の状況の平均が 4.0 以上であることが望ましい。 選考方法 第一次選考(出願書類による書類選考)と第二次選考(小論文及び面接(口頭試問を含む。))に分けて選考する。
生命科学科	学力に関しては、十分な基礎学力を有していることを重視する。 生命科学科は、さらに探究活動、研究活動、部活動、行事、生徒会活動等(学校外での相当する活動を含む。)において、自発的に中心的役割を果たした経験を有することを重視する。

2028 年度一般推薦入試(出願資格・推薦基準・選考方法等)

都市環境学部【2026 年 7 月 10 日変更分】赤字部分 【2026 年 8 月 20 日変更分】青字部分

地理環境学科	出願資格 (1) 日本国内に所在する高等学校等(※)を 2028 年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者で、当該学校長が推薦するもの (2) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 (※)高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)以外の学校が推薦を希望する場合は、事前協議を行う。 推薦基準 次の要件をすべて満たす者 (1) 自然科学や環境科学に対する強い興味と旺盛な向学心を有する者 なお、高等学校等入学時から出願時までの数学の学習成績の状況及び英語の学習成績の状況がいずれも 4.0 以上であることが望ましい。 (2) 次の外部英語検定試験のいずれかのスコアを有する者【注】 ・ケンブリッジ英語検定 120 以上(※1) ・実用英語技能検定 準2級 1700 以上(※2) ・GTEC(Core, Basic, Advanced, CBT) 680 以上(※3) ・IELTS 4.0 以上(※4) ・TEAP 135 以上 ・TOEFL iBT 42 以上(※5)(2026 年 1 月 20 日以前受験) 2.0 以上(※5)(2026 年 1 月 21 日以降受験) ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 625 以上(※6) (※1)対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。 (※2)準2級プラス 1700 以上、2級 1728 以上、準1級 1980 以上、1級 2304 以上でも可。 各級の指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview 方式についても有効とする。 (※3)GTEC(Core, Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。 (※4)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※5)TestDate スコアのみを有効とする。 (※6)TOEIC L&R/TOEIC S&W は、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算する。 【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。 各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 選考方法 第一次選考(調査書、推薦書及び志望理由書による書類選考)と第二次選考(小論文及び面接(口頭試問を含む。))に分けて選考する。 その他 入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、地理環境学科前期日程試験と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は合否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。
--------	---

2028 年度一般推薦入試(出願資格・推薦基準・選考方法等)

都市基盤環境学科	出願資格 (1) 次のいずれかに該当する者で、当該学校長が推薦するもの ① 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県内に所在する高等学校等(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 ② 2027年4月1日以前から引き続き東京都内に住所を有し、高等学校等(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 (2) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 (※)高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)以外の学校が推薦を希望する場合は、事前協議を行う。 推薦基準 次の要件をすべて満たす者 (1) 成績優秀な者で、かつ、旺盛な向学心と積極性を有する者 (2) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が4.0 以上 ② 高等学校等入学時から出願時までの外国語の学習成績の状況、数学の学習成績の状況及び理科の学習成績の状況がいずれも 4.3 以上 (3) 次の外部英語検定試験のいずれかのスコアを有する者【注】 ・ケンブリッジ英語検定 120 以上(※1) ・実用英語技能検定 準2級 1700 以上(※2) ・GTEC(Core, Basic, Advanced, CBT) 680 以上(※3) ・IELTS 4.0 以上(※4) ・TEAP 135 以上 ・TOEFL iBT 42 以上(※5)(2026 年 1 月 20 日以前受験) 2.0 以上(※5)(2026 年 1 月 21 日以降受験) ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 625 以上(※6) (※1)対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。 (※2)準2級プラス 1700 以上、2級 1728 以上、準1級 1980 以上、1級 2304 以上でも可。各級の指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview 方式についても有効とする。 (※3)GTEC(Core, Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。 (※4)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※5)TestDate スコアのみを有効とする。 (※6)TOEIC L&R/TOEIC S&W は、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算する。 【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。 各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 選考方法 第一次選考(調査書、推薦書、志望理由書による書類選考)と第二次選考(小論文及び面接(口頭試問を含む。))に分けて選考する。
----------	---

2028 年度一般推薦入試(出願資格・推薦基準・選考方法等)

建築学科	出願資格 (1) 次のいずれかに該当する者で、当該学校長が推薦するもの ① 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県内に所在する高等学校等(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 ② 2027年4月1日以前から引き続き東京都内に住所を有し、高等学校等(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 (2) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 (※)高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)以外の学校が推薦を希望する場合は、事前協議を行う。 推薦基準 次の要件をすべて満たす者 (1) 成績優秀な者で、かつ、旺盛な向学心と積極性を有する者 (2) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が4.0 以上 ② 高等学校等入学時から出願時までの外国語の学習成績の状況、数学の学習成績の状況及び理科の学習成績の状況がいずれも 4.3 以上 (3) 次の外部英語検定試験のいずれかのスコアを有する者【注】 ・ケンブリッジ英語検定 120 以上(※1) ・実用英語技能検定 準2級 1700 以上(※2) ・GTEC(Core, Basic, Advanced, CBT) 680 以上(※3) ・IELTS 4.0 以上(※4) ・TEAP 135 以上 ・TOEFL iBT 42 以上(※5)(2026 年 1 月 20 日以前受験) 2.0 以上(※5)(2026 年 1 月 21 日以降受験) ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 625 以上(※6) (※1)対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。 指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。 (※2)準2級プラス 1700 以上、2級 1728 以上、準1級 1980 以上、1級 2304 以上でも可。 各級の指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview 方式についても有効とする。 (※3)GTEC(Core, Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。 (※4)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※5)TestDate スコアのみを有効とする。 (※6)TOEIC L&R/TOEIC S&W は、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算する。 【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。 各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 選考方法 第一次選考(調査書、推薦書、志望理由書による書類選考)と第二次選考(小論文及び面接(口頭試問を含む。))に分けて選考する。 その他 入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、建築学科前期日程試験と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は合否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。
------	---

2028 年度一般推薦入試(出願資格・推薦基準・選考方法等)

環境応用化学科	出願資格 (1) 日本国内に所在する高等学校等(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者で、当該学校長が推薦するもの (2) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 (※)高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)以外の学校が推薦を希望する場合は、事前協議を行う。 推薦基準 次の要件をすべて満たす者 (1) 成績優秀な者で、かつ、旺盛な向学心と積極性を有する者 (2) 次のいずれかに該当する者 ①高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が4.0以上 ②高等学校等入学時から出願時までの外国語の学習成績の状況、数学の学習成績の状況及び理科の学習成績の状況がいずれも4.3以上 (3) 次の外部英語検定試験のいずれかのスコアを有する者【注】 ・ケンブリッジ英語検定 120 以上(※1) ・実用英語技能検定 準2級 1700 以上(※2) ・GTEC(Core, Basic, Advanced, CBT) 680 以上(※3) ・IELTS 4.0 以上(※4) ・TEAP 135 以上 ・TOEFL iBT 42 以上(※5)(2026 年 1 月 20 日以前受験) 2.0 以上(※5)(2026 年 1 月 21 日以降受験) ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 625 以上(※6) (※1)対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。 指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。 (※2)準2級プラス 1700 以上、2級 1728 以上、準1級 1980 以上、1級 2304 以上でも可。 各級の指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview 方式についても有効とする。 (※3)GTEC(Core, Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。 (※4)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※5)TestDate スコアのみを有効とする。 (※6)TOEIC L&R/TOEIC S&W は、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算する。 【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。 各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 (4) 「化学基礎及び化学」を履修(見込みを含む。)し、「物理基礎及び物理」、「生物基礎及び生物」及び「地学基礎及び地学」のいずれかを履修(見込みを含む。)していること(いずれの科目も準ずる科目を含む。) (5) 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学Cの6科目又はこれらに準ずる科目を履修(見込みを含む。)していること 選考方法 第一次選考(調査書、推薦書、志望理由書及び活動報告書による書類選考)と第二次選考(小論文及び面接(口頭試問を含む。))に分けて選考する。 その他 入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、環境応用化学科前期日程試験と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は合否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。
---------	---

2028 年度一般推薦入試(出願資格・推薦基準・選考方法等)

観光科学科	出願資格 (1) 日本国内に所在する高等学校等(※)を 2028 年3月卒業見込みの者又は 2027 年 4月以降に卒業した者で、当該学校長が推薦するもの (2) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 (※)高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)以外の学校が推薦を希望する場合は、事前協議を行う。 推薦基準 次の要件をすべて満たす者 (1) 旺盛な向学心と積極性を有する者 (2) 高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が 4.0 以上 (3) 次の外部英語検定試験のいずれかのスコアを有する者【注】 <table border="0"> <tr> <td>・ケンブリッジ英語検定</td><td>120 以上(※1)</td></tr> <tr> <td>・実用英語技能検定</td><td>準2級 1700 以上(※2)</td></tr> <tr> <td>・GTEC(Core, Basic, Advanced, CBT)</td><td>680 以上(※3)</td></tr> <tr> <td>・IELTS</td><td>4.0 以上(※4)</td></tr> <tr> <td>・TEAP</td><td>135 以上</td></tr> <tr> <td>・TOEFL iBT</td><td>42 以上(※5) (2026 年 1 月 20 日以前受験)</td></tr> <tr> <td></td><td>2.0 以上(※5) (2026 年 1 月 21 日以降受験)</td></tr> <tr> <td>・TOEIC L&R/TOEIC S&W</td><td>625 以上(※6)</td></tr> </table> (※1)対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。 指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。 (※2)準2級プラス 1700 以上、2級 1728 以上、準1級 1980 以上、1級 2304 以上でも可。 各級の指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview 方式についても有効とする。 (※3)GTEC(Core, Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。 (※4)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※5)TestDate スコアのみを有効とする。 (※6)TOEIC L&R/TOEIC S&W は、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算する。 【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。 各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 選考方法 第一次選考(調査書、推薦書、志望理由書による書類選考)と第二次選考(小論文及び面接(口頭試問を含む。))に分けて選考する。	・ケンブリッジ英語検定	120 以上(※1)	・実用英語技能検定	準2級 1700 以上(※2)	・GTEC(Core, Basic, Advanced, CBT)	680 以上(※3)	・IELTS	4.0 以上(※4)	・TEAP	135 以上	・TOEFL iBT	42 以上(※5) (2026 年 1 月 20 日以前受験)		2.0 以上(※5) (2026 年 1 月 21 日以降受験)	・TOEIC L&R/TOEIC S&W	625 以上(※6)
・ケンブリッジ英語検定	120 以上(※1)																
・実用英語技能検定	準2級 1700 以上(※2)																
・GTEC(Core, Basic, Advanced, CBT)	680 以上(※3)																
・IELTS	4.0 以上(※4)																
・TEAP	135 以上																
・TOEFL iBT	42 以上(※5) (2026 年 1 月 20 日以前受験)																
	2.0 以上(※5) (2026 年 1 月 21 日以降受験)																
・TOEIC L&R/TOEIC S&W	625 以上(※6)																

2028 年度一般推薦入試(出願資格・推薦基準・選考方法等)

システムデザイン学部	
情報科学科	出願資格 (1) 次のいずれかに該当する者で、当該学校長が推薦するもの ① 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県内に所在する高等学校等(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 ② 2027年4月1日以前から引き続き東京都内に住所を有し、高等学校等(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 (2) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 (※)高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)以外の学校が推薦を希望する場合は、事前協議を行う。 推薦基準 次の要件をすべて満たす者 (1) 科学技術に対する強い興味と旺盛な向学心を有する者 (2) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が4.0以上 ② 高等学校等入学時から出願時までの数学の科目及び理科の科目の評定を合算し、その評定数で除した値が4.2以上 選考方法 第一次選考(調査書、推薦書、志望理由書により書類選考)と第二次選考(小論文、面接及び口頭試問)に分けて選考する。
電気電子工学科	出願資格 (1) 次のいずれかに該当する者で、当該学校長が推薦するもの ① 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県内に所在する高等学校等(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 ② 2027年4月1日以前から引き続き東京都内に住所を有し、高等学校等(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 (2) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 (※)高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)以外の学校が推薦を希望する場合は、事前協議を行う。 推薦基準 次の要件をすべて満たす者 (1) 科学技術に対する強い興味と旺盛な向学心を有する者 (2) 以下に示す科目群を履修あるいは履修見込みであり、かつ、高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が4.0以上 ① 数学: 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学Cの6科目又はこれらに準ずる科目 ② 理科: 物理基礎及び物理の2科目又はこれらに準ずる科目 選考方法 第一次選考(調査書、推薦書、志望理由書により書類選考)と第二次選考(小論文、面接及び口頭試問)に分けて選考する。

2028 年度一般推薦入試(出願資格・推薦基準・選考方法等)

機械システム工学科	出願資格 (1) 次のいずれかに該当する者で、当該学校長が推薦するもの ① 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県内に所在する高等学校等(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 ② 2027年4月1日以前から引き続き東京都内に住所を有し、高等学校等(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 (2) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 (※)高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)以外の学校が推薦を希望する場合は、事前協議を行う。 推薦基準 次の要件をすべて満たす者 (1) 科学技術に対する強い興味と旺盛な向学心を有する者 (2) 以下に示す科目群を履修あるいは履修見込みであり、かつ、高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が4.0以上 ①数学:数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学Cの6科目又はこれらに準ずる科目 ②理科:物理基礎及び物理の2科目又はこれらに準ずる科目 選考方法 第一次選考(調査書、推薦書、志望理由書により書類選考)と第二次選考(小論文、面接及び口頭試問)に分けて選考する。
インダストリアル アート学科	出願資格 (1) 次のいずれかに該当する者で、当該学校長が推薦するもの ① 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県内に所在する高等学校等(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 ② 2027年4月1日以前から引き続き東京都内に住所を有し、高等学校等(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 (2) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 (※)高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)以外の学校が推薦を希望する場合は、事前協議を行う。 推薦基準 次の要件をすべて満たす者 (1) デザイン、アートとともに現代社会、科学技術に対する強い興味と旺盛な向学心を有する者 (2) 高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が4.0以上 選考方法 第一次選考(調査書、推薦書、志望理由書により書類選考)と第二次選考(小論文、面接及び口頭試問)に分けて選考する。

2028 年度一般推薦入試(出願資格・推薦基準・選考方法等)

健康福祉学部【2026 年 7 月 10 日変更分】赤字部分 【2026 年 8 月 20 日変更分】青字部分

看護学科	出願資格 (1) 日本国内に所在する高等学校等(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027 年 4月以降に卒業した者で、当該学校長が推薦するもの (2) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 (※) 高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)以外の学校が推薦を希望する場合は、事前協議を行う。 推薦基準 次の要件をすべて満たす者 (1) 学力、人物ともに優れている者 (2) 高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が 4.0 以上 (3) 本学卒業後、東京都内において本学部で修学した学科に関連する職業に従事する強い意思を有する者 選考方法 第一次選考(調査書(国語、数学及び外国語(英語)の学習成績の状況)による書類選考)と第二次選考(調査書、推薦書、志望理由書、小論文及び面接(口頭試問を含む。))に分けて選考する。 その他 入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、看護学科前期日程試験と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は可否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。
理学療法学科	出願資格 (1) 日本国内に所在する高等学校等(※)を 2028 年3月卒業見込みの者又は 2027 年 4月以降に卒業した者で、当該学校長が推薦するもの (2) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 (※) 高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)以外の学校が推薦を希望する場合は、事前協議を行う。 推薦基準 次の要件をすべて満たす者 (1) 学力、人物ともに優れている者 なお、高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が 4.0 以上であることが望ましい。 (2) 本学卒業後、本学大学院への進学もしくは東京都内において本学部で修学した学科に関連する職業に従事する強い意思を有する者 選考方法 第一次選考(調査書(国語、数学及び外国語(英語)の学習成績の状況)による書類選考。)と第二次選考(調査書、推薦書、志望理由書、小論文及び面接(口頭試問を含む。))に分けて選考する。 その他 入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、理学療法学科前期日程試験と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は可否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。

2028 年度一般推薦入試(出願資格・推薦基準・選考方法等)

作業療法学科	出願資格 (1) 日本国内に所在する高等学校等(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者で、当該学校長が推薦するもの (2) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 (※)高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)以外の学校が推薦を希望する場合は、事前協議を行う。 推薦基準 次の要件をすべて満たす者 (1) 学力、人物ともに優れている者 なお、高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が4.0以上であることが望ましい。 (2) 本学卒業後、本学大学院への進学もしくは東京都内において本学部で修学した学科に関連する職業に従事する強い意思を有する者 選考方法 第一次選考(調査書(「全体の学習成績の状況」)による書類選考。)と第二次選考(調査書、推薦書、志望理由書、小論文及び面接(口頭試問を含む。))に分けて選考する。														
放射線学科	出願資格 (1) 日本国内に所在する高等学校等(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者で、当該学校長が推薦するもの (2) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 (※)高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)以外の学校が推薦を希望する場合は、事前協議を行う。 推薦基準 次の要件をすべて満たす者 (1) 学力、人物ともに優れている者 なお、高等学校等入学時から出願時までの国語、外国語(英語)、数学、理科、地理歴史、公民及び情報の7教科の学習成績の状況(7教科の科目の評定を合算し、その評定数で除した値)が4.0以上であることが望ましい。 (2) 以下に示す科目群を履修あるいは履修見込みであること。 ①数学:数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学Cの6科目又はこれらに準ずる科目 ②理科:物理、化学及び生物のうち2科目又は当該2科目に準ずる科目。なお、準ずる科目には基礎付き科目は含まない。 (3) 本学卒業後、本学大学院への進学もしくは東京都内において本学部で修学した学科に関連する職業に従事する強い意思を有する者 (4) 次の外部英語検定試験のいずれかのスコアを有する者【注】 <table border="0"> <tr> <td>・ケンブリッジ英語検定</td> <td>120 以上(※1)</td> </tr> <tr> <td>・実用英語技能検定</td> <td>準2級 1700 以上(※2)</td> </tr> <tr> <td>・GTEC(Core, Basic, Advanced, CBT)</td> <td>680 以上(※3)</td> </tr> <tr> <td>・IELTS</td> <td>4.0 以上(※4)</td> </tr> <tr> <td>・TEAP</td> <td>135 以上</td> </tr> <tr> <td>・TOEFL iBT</td> <td>42 以上(※5)(2026年1月20日以前受験) 2.0 以上(※5)(2026年1月21日以降受験)</td> </tr> <tr> <td>・TOEIC L&R/TOEIC S&W</td> <td>625 以上(※6)</td> </tr> </table> (※1)対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。 指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。 (※2)準2級プラス 1700 以上、2級 1728 以上、準1級 1980 以上、1級 2304 以上でも可。 各級の指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview 方式についても有効とする。 (※3)GTEC(Core, Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。 (※4)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※5)TestDate スコアのみを有効とする。 (※6)TOEIC L&R/TOEIC S&W は、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算する。 【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 選考方法 第一次選考(調査書(国語、数学、理科及び外国語(英語)の学習成績の状況)による書類選考。)と第二次選考(調査書、推薦書、志望理由書、小論文及び面接(口頭試問を含む。))に分けて選考する。 その他 入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、放射線学科前期日程試験と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は合否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。	・ケンブリッジ英語検定	120 以上(※1)	・実用英語技能検定	準2級 1700 以上(※2)	・GTEC(Core, Basic, Advanced, CBT)	680 以上(※3)	・IELTS	4.0 以上(※4)	・TEAP	135 以上	・TOEFL iBT	42 以上(※5)(2026年1月20日以前受験) 2.0 以上(※5)(2026年1月21日以降受験)	・TOEIC L&R/TOEIC S&W	625 以上(※6)
・ケンブリッジ英語検定	120 以上(※1)														
・実用英語技能検定	準2級 1700 以上(※2)														
・GTEC(Core, Basic, Advanced, CBT)	680 以上(※3)														
・IELTS	4.0 以上(※4)														
・TEAP	135 以上														
・TOEFL iBT	42 以上(※5)(2026年1月20日以前受験) 2.0 以上(※5)(2026年1月21日以降受験)														
・TOEIC L&R/TOEIC S&W	625 以上(※6)														

2028 年度一般推薦入試(出願資格・推薦基準・選考方法等)

2028年度指定校推薦入試(出願資格・選考方法等)

人文社会学部	
人間社会学科	出願資格 (1) 各学科が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)の全日制普通科又は人文社会学部が指定する学科を2028年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 地理歴史:日本史探究、世界史探究、地理探究のうち1科目以上を修得(見込みを含む)していること。(※) (※)留学等の事情で該当科目の履修ができず、代替科目にて履修をしている場合は入試課まで問い合わせること。
人文学科	(3) 合格した場合、本学の入学を確約できる者 選考方法 出願書類及び面接(口頭試問を含む。)により選考する。
法学部	
法学科	出願資格 (1) 法学部が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 数学:数学Ⅱ、数学B、数学C(※)を修得(見込みを含む。)していること。 (※)数学Cはベクトルのみの履修でも可とする。またその代替として、学校設定科目等でベクトルを履修した場合は、調査書にその旨を記載すること。 (3) 地理歴史:日本史探究、世界史探究、地理探究のうち1科目以上を修得(見込みを含む)していること(※)。 (※)代替科目で上記科目を履修した場合は、調査書にその旨を記載すること。 (4) 合格した場合、本学の入学を確約できる者 選考方法 出願書類及び面接(口頭試問を含む。)により選考する。
経済経営学部 【2026年8月20日変更分】青字部分	
経済経営学科	出願資格 (1) 経済経営学部が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)の全日制普通科又は経済経営学部が指定する学科・コース等を2028年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 以下に示す科目群を履修(見込み含む)していること。当該科目を履修中の場合は、調査書にその旨が記載されていること。 数学:数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B及び数学C(※)の5科目又はこれらに準ずる科目 (※)数学Cはベクトルのみの履修でも可とする。またその代替として、学校設定科目等でベクトルを履修した場合は、調査書にその旨を記載すること。 (3) 合格した場合、本学の入学を確約できる者 選考方法 出願書類、集団討論及び面接により選考する。 集団討論では、社会・時事問題等に関する内容について参加者が議論を行い、受験者の基礎的知識及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する。面接では、受験動機・大学で希望する学修内容・大学卒業後の進路などを問う面接を行う。 その他 入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、経済経営学部前期日程試験(一般区分又は数理区分)と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は可否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。

2028年度指定校推薦入試(出願資格・選考方法等)

理学部	
数理科学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 数理科学科が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 数学:数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学Cの6科目又はこれらに準ずる科目を履修(見込み含む。)していること。 (3) 合格した場合、本学の入学を確約できる者 選考方法 出願書類及び面接(口頭試問を含む。)により選考する。
物理学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 物理学科が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 以下に示す科目群を履修(見込み含む。)していること。 数学:数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学Cの6科目又はこれらに準ずる科目 理科:物理基礎及び物理の2科目又はこれらに準ずる科目 (3) 合格した場合、本学の入学を確約できる者 選考方法 出願書類及び面接(口頭試問を含む。)により選考する。
化学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 化学科が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 以下に示す科目群を履修(見込み含む。)していること。 数学:数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学Cの6科目又はこれらに準ずる科目 理科(化学):化学基礎及び化学の2科目又はこれらに準ずる科目 理科(その他):次の3つの科目群のうちいずれか1つ又はこれらに準ずる科目;「物理基礎及び物理」、「生物基礎及び生物」、「地学基礎及び地学」 (3) 合格した場合、本学の入学を確約できる者 選考方法 出願書類及び面接(口頭試問を含む。)により選考する。
生命科学科	出願資格 (1) 生命科学科が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 以下に示す科目群を履修(見込み含む。)していること。 数学:数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学Cの6科目又はこれらに準ずる科目 理科:次の4つの科目群のうちいずれか2つ又はこれらに準ずる科目;生物基礎及び生物、化学基礎及び化学、物理基礎及び物理、地学基礎及び地学 (3) 合格した場合、本学の入学を確約できる者 選考方法 出願書類及び面接(口頭試問を含む。)により選考する。 探究活動、研究活動、部活動、行事、生徒会活動等(学校外での相当する活動を含む。)において、自発的に中心的役割を果たした経験を有することを重視する。

2028年度指定校推薦入試(出願資格・選考方法等)

都市環境学部【2026年7月10日変更分】赤字部分 【2026年8月20日変更分】青字部分	
都市基盤環境学科	出願資格 (1) 各学科が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 合格した場合、本学の入学を確約できる者 選考方法 出願書類及び面接(口頭試問を含む。)により選考する。
建築学科	出願資格 (1) 各学科が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 合格した場合、本学の入学を確約できる者 選考方法 出願書類及び面接(口頭試問を含む。)により選考する。 その他 入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、建築学科前期日程試験と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は合否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。
環境応用化学学科	出願資格 (1) 環境応用化学学科が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 理科:「化学基礎及び化学」、「物理基礎及び物理」、「生物基礎及び生物」及び「地学基礎及び地学」のうち化学を含め2科目又は当該2科目に準ずる科目を履修(見込みを含む。)していること。 (3) 数学:数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学Cの6科目又はこれらに準ずる科目を履修(見込みを含む。)していること (4) 合格した場合、本学の入学を確約できる者 選考方法 出願書類及び面接(口頭試問を含む。)により選考する。 その他 入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、環境応用化学学科前期日程試験と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は合否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。

2028年度指定校推薦入試(出願資格・選考方法等)

システムデザイン学部	
情報科学科	出願資格 (1) 情報科学科が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 合格した場合、本学の入学を確約できる者 選考方法 出願書類及び面接(口頭試問を含む。)により選考する。
電気電子工学科	出願資格 (1) 電気電子工学科が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 合格した場合、本学の入学を確約できる者 選考方法 出願書類及び面接(口頭試問を含む。)により選考する。
機械システム工学科	出願資格 (1) 機械システム工学科が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 合格した場合、本学の入学を確約できる者 選考方法 出願書類及び面接(口頭試問を含む。)により選考する。
航空宇宙システム工学科	出願資格 (1) 航空宇宙システム工学科が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 以下に示す科目群を履修あるいは履修見込みであること 数学:数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学Cの6科目又はこれらに準ずる科目 理科:物理基礎及び物理の2科目又はこれらに準ずる科目 (3) 合格した場合、本学の入学を確約できる者 選考方法 出願書類及び面接(口頭試問を含む。)により選考する。

2028年度指定校推薦入試(出願資格・選考方法等)

健康福祉学部 【2026 年8月 20 日変更分】青字部分

看護学科	出願資格 (1) 看護学科が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を 2028 年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 合格した場合、本学の入学を確約できる者 選考方法 出願書類及び面接(口頭試問を含む。)により選考する。 その他 入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、看護学科前期日程試験と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は合否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。
作業療法学科	出願資格 (1) 作業療法学科が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を 2028 年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 合格した場合、本学の入学を確約できる者 選考方法 出願書類及び面接(口頭試問を含む。)により選考する。
放射線学科	出願資格 (1) 放射線学科が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を 2028 年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 以下に示す科目群を履修(見込み含む。)していること。 ①数学:数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学Cの6科目又はこれらに準ずる科目 ②理科:物理、化学及び生物のうち2科目又は当該2科目に準ずる科目。なお、準ずる科目には基礎付き科目は含まない。 (3) 合格した場合、本学の入学を確約できる者 選考方法 出願書類及び面接(口頭試問を含む。)により選考する。 その他 入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、放射線学科前期日程試験と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は合否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。

2028年度高校特定型特別推薦入試 (出願資格・選考方法等)

経済経営学部【2026年7月10日変更分】赤字部分 【2026年8月20日変更分】青字部分

経済経営学科

出願資格

(1) 経済経営学部が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)の全日制普通科又は経済経営学部が指定する学科・コース等を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者で、当該学校長が推薦するもの

(2) 以下に示す科目群を履修(見込み含む。)していること。

当該科目を履修中の場合は、調査書にその旨が記載されていること。

数学:数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B及び数学C^(※)の5科目又はこれらに準ずる科目

(※)数学Cはベクトルのみの履修でも可とする。またその代替として、学校設定科目等でベクトルを履修した場合は、調査書にその旨を記載すること。

(3) 次の外部英語検定試験のいずれかのスコアを有する者【注】

- ・ケンブリッジ英語検定 140 以上(※1)
- ・実用英語技能検定 2級 1950 以上(※2)
- ・GTEC(Basic, Advanced, CBT) 930 以上(※3)
- ・IELTS 4.0 以上(※4)
- ・TEAP 225 以上
- ・TOEFL iBT 42 以上(※5)(2026年1月20日以前受験)
3.0 以上(※5)(2026年1月21日以降受験)
- ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 1150 以上(※6)

(※1)対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiencyとする。
指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。

(※2)準1級 1980 以上、1級 2304 以上でも可。
指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview方式についても有効とする。

(※3)GTEC(Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。

(※4)IELTSは、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。

(※5)TestDate スコアのみを有効とする。

(※6)TOEIC L&R/TOEIC S&Wは、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算する。

【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。

各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。

(4) 合格した場合、本学への入学を確約できる者

選考方法

第一次選考(調査書、推薦書、志望理由書による書類選考)と第二次選考(小論文、面接(口頭試問を含む。)、提出された外部英語検定試験のスコア)に分けて選考する。

小論文では、数学・統計、並びに、社会・時事問題等に関する受験者の知識や意見を問う。

面接では、受験動機・大学で希望する学修内容・大学卒業後の進路等を問う面接並びに数学及び社会・時事問題等に関する口頭試問を行う。

その他

入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、経済経営学部前期日程試験(一般区分又は数理区分)と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は合否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。

2028年度高校特定型特別推薦入試 (出願資格・選考方法等)

システムデザイン学部	
航空宇宙システム工学科	出願資格 (1) 航空宇宙システム工学科が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)の全日制普通科又は航空宇宙システム工学科が指定する学科を2028年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 以下に示す科目群を履修(見込み含む。)していること。 ①数学:数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学Cの6科目又はこれらに準ずる科目 ②理科:物理基礎及び物理の2科目又はこれらに準ずる科目 (3) 2025年4月1日以降実施の外部英語検定試験^(※)を受験した者 (4) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 選考方法 第一次選考(調査書、推薦書、志望理由書及び外部英語検定試験^(※)の成績証明書による書類選考)と第二次選考(小論文、面接及び口頭試問)に分けて選考する。 (※)対象となる外部英語検定試験の種類および条件は、同年度の一般選抜と同一とする。
健康福祉学部 【2026年8月20日変更分】青字部分	
看護学科	出願資格 (1) 看護学科が指定する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者で、当該学校長が推薦するもの (2) 合格した場合、本学の入学を確約できる者 選考方法 出願書類及び面接(口頭試問を含む。)により総合的に判断する。 その他 入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、看護学科前期日程試験と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は合否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。

2028年度都立工科高校等 特別推薦入試 (出願資格・推薦基準・選考方法)

システムデザイン学部	
情報科学科	出願資格 (1) 東京都立の工科高等学校又は高等学校の工業に関する学科を 2028 年3月卒業見込みの者 (2) 明確な志望動機と旺盛な向学心を持ち、当該学校長が責任をもって推薦できる者であること (3) 合格した場合、本学への入学を確約できる者
電気電子工学科	推薦基準 次の要件のすべてを満たす者 (1) 高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が 4.3 以上の者 (2) 理科については、2単位以上の物理基礎及び4単位以上の物理(複数の物理科目で計4単位以上も可)を履修した者(履修見込み者を含む。) (3) 数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学Cの6科目又はこれらに準ずる科目を履修した者(履修見込み者を含む。)
機械システム工学科	選考方法 第一次選考(調査書、推薦書、志望理由書による書類選考)と第二次選考(面接(口頭試問を含む。))に分けて選考する。

2028年度ゼミナール入試(出願資格・選抜方法)

理学部	
生命科学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 日本国内に所在する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者 (2) 2026年9月1日以降に、学校教育法の定める大学、大学院、公的研究機関又は公益法人が提供する自然科学に関する総時間 6 時間以上の講義※及び総時間 8 時間以上の実習※を受講した者 ※本学理学部生命科学科が提供する高校生ゼミナールで実施される講義及び実験を含む。 (3) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 選抜方法 第一次選抜(調査書、志望理由書、講義及び実習の概要、自分で行った実験等の研究内容等による書類選考)と第二次選抜(「研究発表及び討論」の成績及び面接(口頭試問を含む。))によって選抜する。
都市環境学部【2026 年 7 月 10 日変更分】赤字部分 【2026 年8月 20 日変更分】青字部分	
地理環境学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 日本国内に所在する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028 年3月卒業見込みの者 (2) 次の外部英語検定試験のいずれかのスコアを有する者【注】 ・ケンブリッジ英語検定 120 以上(※1) ・実用英語技能検定 準2級 1700 以上(※2) ・GTEC(Core, Basic, Advanced, CBT) 680 以上(※3) ・IELTS 4.0 以上(※4) ・TEAP 135 以上 ・TOEFL iBT 42 以上(※5) (2026 年 1 月 20 日以前受験) 2.0 以上(※5) (2026 年 1 月 21 日以降受験) ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 625 以上(※6) (※1)対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。 指定されたスコアを超えていれば合格は問わない。 (※2)準2級プラス 1700 以上、2級 1728 以上、準1級 1980 以上、1級 2304 以上でも可。 各級の指定されたスコアを超えていれば合格は問わない。S-CBT・S-interview 方式についても有効とする。 (※3)GTEC(Core, Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。 (※4)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※5)TestDate スコアのみを有効とする。 (※6)TOEIC L&R/TOEIC S&W は、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算する。 【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。 各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 (3) 2026 年度の英語の学習成績の状況が 3.5 以上の者 (4) 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学Cのうち数学Ⅰを含むいずれか2科目以上を履修し、かつ、高等学校等入学時から出願時までの数学の学習成績の状況が 3.5 以上の者 (5) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 選抜方法 第一次選抜(調査書及び志望理由書による書類選考)と第二次選抜(ゼミナールの履修成績及び面接(口頭試問を含む。))によって選抜する。

2028年度ゼミナール入試(出願資格・選抜方法)

	その他 入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト（受験科目は、地理環境学科前期日程試験と同一）の受験を課す。大学入学共通テストの結果は合否の判定には影響しないが、受験しなかった場合（受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。）は、合格発表後であっても合格を取り消す。
健康福祉学部【2026 年 7 月 10 日変更分】赤字部分	
(英語ゼミナール) 理学療法学科 作業療法学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 日本国内に所在する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)(※)を 2028 年3月卒業見込みの者。又は高等専門学校の3年次を 2028 年 3 月修了見込みの者 ※日本の高等学校に限ります。インターナショナルスクールや外国の学校等は対象となりません。 (2) 英語の能力に優れた者で、次のいずれかのスコアを有するもの【注】 ・ケンブリッジ英語検定 140 以上(※1) ・実用英語技能検定 2級 1950 以上(※2) ・GTEC(Basic, Advanced, CBT) 930 以上(※3) ・IELTS 4.0 以上(※4) ・TEAP 225 以上 ・TOEFL iBT 42 以上(※5)(2026 年 1 月 20 日以前受験) 3.0 以上(※5)(2026 年 1 月 21 日以降受験) ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 1150 以上(※6) (※1)対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。 (※2)準1級 1980 以上、1級 2304 以上でも可。 各級の指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview 方式についても有効とする。 (※3)GTEC(Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。 (※4)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※5)TestDate スコアのみを有効とする。 (※6)TOEIC L&R/TOEIC S&W は、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算する。 【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。 各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 (3) 旺盛な向学心と積極性を有する者 (4) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 選抜方法 第一次選抜(提出された外部英語検定試験のスコア、調査書及び志望理由書による書類選考)と第二次選抜(ゼミナール受講後のレポート及び面接(口頭試問を含む。))に分けて選抜する。

2028年度科学オリンピック入試(出願資格・選抜方法)

理学部	
(全国物理コンテスト 物理チャレンジ) 物理学科 (化学グランプリ) 化学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 ＜各学科共通＞ 日本国内に所在する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者もしくは2027年4月以降に卒業した者又は高等専門学校3年次を2028年3月修了見込みの者もしくは2027年4月以降に修了した者。 ＜学科別要件＞ ・物理学科:出願前に「全国物理コンテスト 物理チャレンジ」で金賞、銀賞、銅賞、優良賞を受賞した者 ・化学科:出願前に「化学グランプリ」一次選考(筆記)で上位10%以内の成績を修めた者 選抜方法 出願書類、調査書、志望理由書及び面接(口頭試問を含む。)により総合的に判定する。
(日本生物学 オリンピック) 生命科学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 日本国内に所在する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 (2) 出願前に「日本生物学オリンピック」で予選を通過した者 選抜方法 出願書類、調査書、志望理由書及び面接(口頭試問を含む。)により総合的に判定する。

2028年度科学オリンピック入試(出願資格・選抜方法)

都市環境学部【2026 年 7 月 10 日変更分】赤字部分 【2026 年8月 20 日変更分】青字部分

(地理・地学 オリンピック) 地理環境学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 日本国内に所在する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 (2) 在学中に「国際地学オリンピック」、「国際地理オリンピック」のいずれかに日本代表として選抜された者又はいずれかの国内選考会で好成績を収めた者(「日本地学オリンピック」予選通過者又は「科学地理オリンピック日本選手権」金メダルもしくは銀メダル受賞者) (3) 次の外部英語検定試験のいずれかのスコアを有する者【注】 ・ケンブリッジ英語検定 120 以上(※1) ・実用英語技能検定 準2級 1700 以上(※2) ・GTEC(Core, Basic, Advanced, CBT) 680 以上(※3) ・IELTS 4.0 以上(※4) ・TEAP 135 以上 ・TOEFL iBT 42 以上(※5) (2026 年 1 月 20 日以前受験) 2.0 以上(※5) (2026 年 1 月 21 日以降受験) ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 625 以上(※6) (※1)対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。 (※2)準2級プラス 1700 以上、2級 1728 以上、準1級 1980 以上、1級 2304 以上でも可。指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview 方式についても有効とする。 (※3)GTEC(Core, Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。 (※4)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※5)TestDate スコアのみを有効とする。 (※6)TOEIC L&R/TOEIC S&W は、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算する。 【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。 各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 選抜方法 出願書類、調査書、志望理由書、小論文及び面接(口頭試問を含む。)により総合的に判定する。
(化学グランプリ) 環境応用化学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 日本国内に所在する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 (2) 在学中に「化学グランプリ」一次選考(筆記)で上位 10%以内の成績を修めた者 (3) 成績優秀で、明確な志望動機及び旺盛な向学心を有し、合格した場合は、本学への入学を確約できる者 選抜方法 出願書類、調査書、志望理由書、小論文及び面接(口頭試問を含む。)により総合的に判定する。 その他 入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、環境応用化学科前期日程試験と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は合否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。

2028年度科学オリンピック入試(出願資格・選抜方法)

システムデザイン学部	
(情報オリンピック) 情報科学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 日本国内に所在する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者もしくは2027年4月以降に卒業した者又は高等専門学校3年次を2028年 3 月修了見込みの者もしくは2027年4月以降に修了した者。 (2) 出願前に「国際情報オリンピック」の国内選考会で好成績を収めた者(「日本情報オリンピック」予選Aランク者又は本選成績優秀者※として表彰された者)又は「未踏IT人材発掘・育成事業」もしくは「未踏ジュニア」に採択された者 ※日本情報オリンピック女性部門の本選Aランク者も含む。 (3) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 選抜方法 出願書類、調査書、志望理由書及び面接(口頭試問を含む。)により総合的に判定する。

2028年度グローバル人材育成入試（出願資格・選抜方法）

人文社会学部【2026年7月10日変更分】赤字部分

人間社会学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)※を2028年3月卒業見込みの者もしくは2027年4月以降に卒業した者。又は高等専門学校の3年次を2028年3月修了見込みの者もしくは2027年4月以降に修了した者。 ※日本の高等学校等に限り。インターナショナルスクールや外国の学校等は対象となりません。 (2) 英語の能力に優れた者で、次のいずれかのスコアを有するもの【注】 ・ケンブリッジ英語検定 160 以上(※1) ・実用英語技能検定 準1級 2300 以上、1級 2304 以上(※2) ・GTEC(Advanced, CBT) 1180 以上(※3) ・IELTS 5.5 以上(※4) ・TEAP 309 以上 ・TOEFL iBT 72 以上(※5) (2026年1月20日以前受験) 4.0 以上(※5) (2026年1月21日以降受験) ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 1560 以上(※6) (※1)対象となる試験は、B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。 指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。 (※2)各級の指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview 方式についても有効とする。 (※3)GTEC(Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。 (※4)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※5)TestDate スコアのみを有効とする。 (※6)TOEIC L&R/TOEIC S&W は、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算する。
人文学科	【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。 各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 (3) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 選抜方法 第一次選抜(調査書及び志望理由書による書類選考)と第二次選抜(小論文(日本語による解答)、面接(口頭試問を含む。))及び大学入学共通テスト成績)に分けて選抜する。 大学入学共通テストの受験科目は、人文社会学部前期日程試験と同一である。

2028年度グローバル人材育成入試（出願資格・選抜方法）

経済経営学部【2026年7月10日変更分】赤字部分 【2026年8月20日変更分】青字部分

経済経営学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 (※)日本の高等学校等に限ります。インターナショナルスクールや外国の学校等は対象となりません。 (2) 英語の能力に優れた者で、次のいずれかのスコアを有するもの【注】 ・ケンブリッジ英語検定 160 以上(※1) ・実用英語技能検定 準1級 2300 以上、1級 2304 以上(※2) ・GTEC(Advanced, CBT) 1180 以上(※3) ・IELTS 5.5 以上(※4) ・TEAP 309 以上 ・TOEFL iBT 72 以上(※5)(2026年1月20日以前受験) 4.0 以上(※5)(2026年1月21日以降受験) ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 1560 以上(※6) (※1)対象となる試験は、B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。 指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。 (※2)各級の指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview 方式についても有効とする。 (※3)GTEC(Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。 (※4)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※5)TestDate スコアのみを有効とする。 (※6)TOEIC L&R/TOEIC S&W は、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算する。 【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。 各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 (3) 経済学あるいは経営学に対する強い興味と旺盛な向学心を有する者 (4) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 選抜方法 第一次選抜(調査書及び志望理由書による書類選考)と第二次選抜(小論文(英語による解答)、面接(口頭試問を含む。))に分けて選抜する。 小論文では、社会・時事問題等に関する受験者の知識や意見について英語による解答を求める。 面接では、日本語及び英語を用いて、受験動機・大学で希望する学修内容・大学卒業後の進路などを問う。また、社会・時事問題に関する口頭試問を行う。 その他 入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、経済経営学科前期日程試験(一般区分又は数理区分)と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は合否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。
--------	--

2028年度グローバル人材育成入試（出願資格・選抜方法）

都市環境学部【2026年7月10日変更分】赤字部分 【2026年8月20日変更分】青字部分

建築学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 (※)日本の高等学校等に限ります。インターナショナルスクールや外国の学校等は対象となりません。 (2) 英語の能力に優れた者で、次のいずれかのスコアを有するもの【注】 ・ケンブリッジ英語検定 160 以上(※1) ・実用英語技能検定 準1級 2300 以上、1級 2304 以上(※2) ・GTEC(Advanced, CBT) 1180 以上(※3) ・IELTS 5.5 以上(※4) ・TEAP 309 以上 ・TOEFL iBT 72 以上(※5) (2026年1月20日以前受験) 4.0 以上(※5) (2026年1月21日以降受験) ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 1560 以上(※6) (※1)対象となる試験は、B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。 指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。 (※2)各級の指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview 方式についても有効とする。 (※3)GTEC(Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。 (※4)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※5)TestDate スコアのみを有効とする。 (※6)TOEIC L&R/TOEIC S&W は、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算する。 【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。 各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 (3) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 さらに次のいずれかに該当する成績優秀な者 ① 高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が 4.0 以上の者 ② 高等学校等入学時から出願時までの外国語の学習成績の状況、数学の学習成績の状況及び理科の学習成績の状況がいずれも 4.3 以上の者 選抜方法 第一次選抜(調査書及び志望理由書による書類選考)と第二次選抜(小論文及び面接(口頭試問を含む。))に分けて選抜する。 その他 入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、建築学科前期日程試験と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は合否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。
------	--

2028年度グローバル人材育成入試（出願資格・選抜方法）

環境応用化学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 (※)日本の高等学校等に限ります。インターナショナルスクールや外国の学校等は対象となりません。 (2) 英語の能力に優れた者で、次のいずれかのスコアを有するもの【注】 ・ケンブリッジ英語検定 160 以上(※1) ・実用英語技能検定 準1級 2300 以上、1級 2304 以上(※2) ・GTEC(Advanced, CBT) 1180 以上(※3) ・IELTS 5.5 以上(※4) ・TEAP 309 以上 ・TOEFL iBT 72 以上(※5)(2026年1月20日以前受験) 4.0 以上(※5)(2026年1月21日以降受験) ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 1560 以上(※6) (※1)対象となる試験は、B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。 指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。 (※2)各級の指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview 方式についても有効とする。 (※3)GTEC(Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。 (※4)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※5)TestDate スコアのみを有効とする。 (※6)TOEIC L&R/TOEIC S&W は、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算する。 【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。 各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 (3) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 さらに次のいずれかに該当する成績優秀な者 (1) 高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が 4.0 以上の者 (2) 高等学校等入学時から出願時までの外国語の学習成績の状況、数学の学習成績の状況及び理科の学習成績の状況がいずれも 4.3 以上の者 選抜方法 第一次選抜(調査書及び志望理由書による書類選考)と第二次選抜(小論文及び面接(口頭試問を含む。))に分けて選抜する。 その他 入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、環境応用化学科前期日程試験と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は合否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。
---------	--

2028年度グローバル人材育成入試（出願資格・選抜方法）

観光科学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 (※)日本の高等学校等に限り、インターナショナルスクールや外国の学校等は対象となりません。 (2) 英語の能力に優れた者で、次のいずれかのスコアを有するもの【注】 ・ケンブリッジ英語検定 160 以上(※1) ・実用英語技能検定 準1級 2300 以上、1級 2304 以上(※2) ・GTEC(Advanced, CBT) 1180 以上(※3) ・IELTS 5.5 以上(※4) ・TEAP 309 以上 ・TOEFL iBT 72 以上(※5)(2026年1月20日以前受験) 4.0 以上(※5)(2026年1月21日以降受験) ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 1560 以上(※6) (※1)対象となる試験は、B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。 指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。 (※2)各級の指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview 方式についても有効とする。 (※3)GTEC(Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。 (※4)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※5)TestDate スコアのみを有効とする。 (※6)TOEIC L&R/TOEIC S&W は、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算する。 【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。 各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 (3) 高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が 4.0 以上の者 (4) 旺盛な向学心と積極性を有し、合格した場合は本学への入学を確約できる者 選抜方法 第一次選抜(調査書及び志望理由書による書類選考)と第二次選抜(小論文及び面接(口頭試問を含む。))に分けて選抜する。
-------	--

2028年度グローバル人材育成入試（出願資格・選抜方法）

都市政策科学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)(※)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 (※)日本の高等学校等に限り、インターナショナルスクールや外国の学校等は対象となりません。 (2) 英語の能力に優れた者で、次のいずれかのスコアを有するもの【注】 ・ケンブリッジ英語検定 160 以上(※1) ・実用英語技能検定 準1級 2300 以上、1級 2304 以上(※2) ・GTEC(Advanced, CBT) 1180 以上(※3) ・IELTS 5.5 以上(※4) ・TEAP 309 以上 ・TOEFL iBT 72 以上(※5)(2026年1月20日以前受験) 4.0 以上(※5)(2026年1月21日以降受験) ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 1560 以上(※6) (※1)対象となる試験は、B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiencyとする。 指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。 (※2)各級の指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview方式についても有効とする。 (※3)GTEC(Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。 (※4)IELTSは、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※5)TestDate スコアのみを有効とする。 (※6)TOEIC L&R/TOEIC S&Wは、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算する。 【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。 各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 (3) 高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者 (4) 旺盛な向学心と積極性を有し、合格した場合は本学への入学を確約できる者 選抜方法 第一次選抜(調査書及び志望理由書による書類選考)と第二次選抜(小論文及び面接(口頭試問を含む。))に分けて選抜する。 その他 入学後の学業の参考とするため、大学入学共通テスト(受験科目は、都市政策科学科前期日程試験(文系区分又は理系区分)と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は合否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。
---------	---

2028年度グローバル人材育成入試（出願資格・選抜方法）

システムデザイン学部【2026 年 7 月 10 日変更分】赤字部分

情報科学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)(※)を 2028 年3月卒業見込みの者又は 2027 年4月以降に卒業した者又は高等専門学校の3年次を 2028 年 3 月修了見込みの者もしくは 2027 年4月以降に修了した者。 (※)日本の高等学校等に限ります。インターナショナルスクールや外国の学校等は対象となりません。 (2) 英語の能力に優れた者で、次のいずれかのスコアを有するもの【注】 ・ケンブリッジ英語検定 160 以上(※1) ・実用英語技能検定 準1級 2300 以上、1級 2304 以上(※2) ・GTEC(Advanced, CBT) 1180 以上(※3) ・IELTS 5.5 以上(※4) ・TEAP 309 以上 ・TOEFL iBT 72 以上(※5)(2026 年 1 月 20 日以前受験) 4.0 以上(※5)(2026 年 1 月 21 日以降受験) ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 1560 以上(※6) (※1)対象となる試験は、B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。 指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。 (※2)各級の指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview 方式についても有効とする。 (※3)GTEC(Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。 (※4)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※5)TestDate スコアのみを有効とする。 (※6)TOEIC L&R/TOEIC S&W は、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算する。 【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。 各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 (3) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 選抜方法 第一次選抜(調査書及び志望理由書による書類選考)と第二次選抜(面接及び大学入学共通テスト成績)に分けて選抜する。 大学入学共通テストの受験科目は、『数学』(「数学Ⅰ,数学A」及び「数学Ⅱ,数学B,数学C」)、『理科(※)』(「物理」、「化学」、「生物」から 1 科目選択)及び『情報』(「情報Ⅰ」)とする。 ※第Ⅰ解答科目を採用する。
--------------	---

2028年度 SAT/ACT・IB 入試（出願資格・選抜方法）

理学部	
生命科学科	出願資格 ＜SAT/ACT 方式＞ 次の(1)①から⑤のいずれかに該当し、さらに(2)及び(3)の要件を満たす者 (1)① 日本国内に所在する高等学校等を卒業した者又は 2028 年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は 2028 年3月までに修了見込みの者 ③ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 12 年の課程を修了したとされるものに限る。)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた文部科学大臣の指定する教育施設の当該課程を修了した者又は 2028 年3月までに修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体^(※)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設が設置している 12 年の課程を修了した者又は 2028 年3月までに修了見込みの者。なお、外国において上記の課程を修了(見込みを含む。)の場合は、日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者その他これに準ずる者に限る。 (※)詳細は文部科学省ウェブサイト“(※6)国際的な評価団体認定外国人学校について”を参照してください。 ⑤ 日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者その他これに準ずる者で、外国において学校教育における 12 年の課程を修了したもの又は 2028 年3月までに修了見込みのもの (2) 2026 年4月1日以降実施の SAT Reasoning Test 又は ACT (+ Optional Writing Test) を受験した者 (3) 2026 年4月1日以降実施の TOEFL iBT 又は IELTS アカデミック・モジュール (TOEFL iBT Home Edition 及び IELTS Online を除く。)を受験した者 ＜IB 方式＞ (1) 国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を取得した者又は 2028 年3月 31 日までに取得見込みの者。ただし、6科目中に化学、生物、物理のいずれか2科目、及び数学を含んでいること(レベルは問わない。)。なお、外国において国際バカロレア資格を取得(見込みを含む。)した場合は、日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者その他これに準ずる者に限る。 (2) 2026 年4月1日以降実施の TOEFL iBT 又は IELTS アカデミック・モジュール (TOEFL iBT Home Edition 及び IELTS Online を除く。)を受験した者 選抜方法 第一次選抜:下記の書類選考により行う。 ＜SAT/ACT 方式＞ ・SAT Reasoning Test 又は ACT (+ Optional Writing Test)のスコア ・TOEFL iBT 又は IELTS のスコア ・Essay form(志望理由書) ＜IB 方式＞ ・国際バカロレア最終試験のスコア(見込み点を含む。) ・Essay form(志望理由書) ＜SAT/ACT 方式、IB 方式共通＞ 第二次選抜:面接(口頭試問を含む。)により行う。 * 面接時の言語は英語又は日本語とする。

2028年度研究室探検入試（出願資格・選抜方法）

都市環境学部【2026年7月10日変更分】赤字部分 【2026年8月20日変更分】青字部分

環境応用化学科	出願資格 次の要件をすべて満たす者 (1) 日本国内に所在する高等学校(中等教育学校、特別支援学校含む。)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 (2) 以下に示す科目群を履修(見込みを含む。)していること。 外国語:英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲの6科目又はこれらに準ずる科目 数 学:数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学Cの6科目又はこれらに準ずる科目 理 科:化学基礎及び化学の2科目又はこれらに準ずる科目 (3) 外国語の学習成績の状況、数学の学習成績の状況及び理科(化学及び化学基礎)の学習成績の状況がいずれも3.5以上 (4) 次の外部英語検定試験のいずれかのスコアを有する者【注】 <table border="0"> <tr> <td>・ケンブリッジ英語検定</td><td>120 以上(※1)</td></tr> <tr> <td>・実用英語技能検定</td><td>準2級 1700 以上(※2)</td></tr> <tr> <td>・GTEC(Core, Basic, Advanced, CBT)</td><td>680 以上(※3)</td></tr> <tr> <td>・IELTS</td><td>4.0 以上(※4)</td></tr> <tr> <td>・TEAP</td><td>135 以上</td></tr> <tr> <td>・TOEFL iBT</td><td>42 以上(※5)(2026年1月20日以前受験) 2.0 以上(※5)(2026年1月21日以降受験)</td></tr> <tr> <td>・TOEIC L&R/TOEIC S&W</td><td>625 以上(※6)</td></tr> </table> (※1)対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。 指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。 (※2)準2級プラス 1700 以上、2級 1728 以上、準1級 1980 以上、1級 2304 以上でも可。 各級の指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview 方式についても有効とする。 (※3)GTEC(Core, Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。 (※4)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※5)TestDate スコアのみを有効とする。 (※6)TOEIC L&R/TOEIC S&W は、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算する。 【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。 各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 (5) 合格した場合、本学への入学を確約できる者 選抜方法 第一次選抜(調査書及び志望理由書による書類選考)と第二次選抜(研究室探検、それを受けての小論文・グループ討論またはプレゼンテーションにより、主体性・化学への興味・知識・思考力・表現力を問う。)に分けて選抜する。 その他 入学後の学業の参考とするため、2028年度大学入学共通テスト(受験科目は、環境応用化学科前期日程試験と同一)の受験を課す。大学入学共通テストの結果は合否の判定には影響しないが、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。	・ケンブリッジ英語検定	120 以上(※1)	・実用英語技能検定	準2級 1700 以上(※2)	・GTEC(Core, Basic, Advanced, CBT)	680 以上(※3)	・IELTS	4.0 以上(※4)	・TEAP	135 以上	・TOEFL iBT	42 以上(※5)(2026年1月20日以前受験) 2.0 以上(※5)(2026年1月21日以降受験)	・TOEIC L&R/TOEIC S&W	625 以上(※6)
・ケンブリッジ英語検定	120 以上(※1)														
・実用英語技能検定	準2級 1700 以上(※2)														
・GTEC(Core, Basic, Advanced, CBT)	680 以上(※3)														
・IELTS	4.0 以上(※4)														
・TEAP	135 以上														
・TOEFL iBT	42 以上(※5)(2026年1月20日以前受験) 2.0 以上(※5)(2026年1月21日以降受験)														
・TOEIC L&R/TOEIC S&W	625 以上(※6)														

2028年度 情報Ⅰ・Ⅱ利用入試(出願資格・選抜方法)

システムデザイン学部	
情報科学科	出願資格 次の要件を全て満たす者 (1)日本国内に所在する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月卒業見込みの者又は2027年4月以降に卒業した者 (2)高等学校等入学時から出願時までの情報Ⅰ、情報Ⅱの評定がいずれも4以上である者^(※) (※)情報Ⅰについては、代替科目による出願を認めます。該当する場合は、事前に本学アドミッション・センター(入試課)まで連絡してください。なお、情報Ⅱについては、情報Ⅱ以外の科目による出願は認められません。 (3)合格した場合、本学への入学を確約できる者 選抜方法 第一次選抜(調査書及び志望理由書による書類選考)と第二次選抜(面接(口頭試問を含む。))及び大学入学共通テスト成績)に分けて選抜する。 大学入学共通テストの受験科目は、『数学』(「数学Ⅰ,数学A」、「数学Ⅱ,数学B,数学C」)、『理科』(物理[※])、『外国語』(英語)及び『情報』(情報Ⅰ)とする。 ※『理科』(物理)を第1解答科目として解答すること。

2028年度 T-GLIPs 入試 I (出願資格・選抜方法)

都市環境学部【2026 年 7 月 10 日変更分】赤字部分

地理環境学科	出願資格 次の(1)から(3)の全てに該当する者 (1)次の①から⑥のいずれかに該当する者 ① 日本国内に所在する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を 2028 年3月 31 日までに卒業又は卒業見込みの者 ② 外国において、正規の学校教育における 12 年の課程を修了(卒業)した者(2028 年3月 31 日までに修了(卒業)見込みの者を含む。)及びこれに準ずる者【注1】 ③ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(※)の認定を受けた教育施設の 12 年の課程を 2028 年3月 31 日までに修了又は修了見込みの者 (※)詳細は文部科学省ウェブサイト“(※6)国際的な評価団体認定外国人学校について”を参照してください。 ④ 次の資格のいずれかを 2028 年3月 31 日までに取得又は取得見込みの者 - a.スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 - b.ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 - c.フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 - d.グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格。ただし、Aレベル3科目以上又はAレベル2科目とASレベル2科目の合計4科目を取得すること。 - e.欧州連合構成国において、大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格 ⑤ 日本において、外国の高等学校の課程相当として、文部科学大臣が指定した教育施設を 2028 年3月 31 日までに修了又は修了見込みの者 ⑥ 高等学校と同等と認定された在外教育施設(文部科学大臣認定等在外教育施設(高等部を設置するもの)一覧)の課程を 2028 年3月 31 日までに修了又は修了見込みの者 (2)2026 年4月1日以降実施の TOEFL iBT 又は IELTS アカデミック・モジュールを受験した者 但し、TOEFL iBT Home Edition 及び IELTS Online は認めない。 (3)次の①から③のいずれかに該当する者 ① 2026 年4月1日以降実施の SAT Reasoning Test 又は ACT (+ Optional Writing Test)を受験した者 ② 国際バカロレア資格の取得(見込みを含む。)において、6科目中に地理、化学、物理、環境システムと社会のうちいずれか2科目、及び数学を含んでいる者(レベルは問わない。) ③ 日本以外の国の大学入学資格試験又は統一試験を 2024 年以降に受験した者で、受験した試験の成績証明書及び試験に関する公式資料を提出できるもの。ただし、試験には化学、物理、地球科学等に相当する科目、及び数学を含んでいること。
---------------	--

2028年度 T-GLIPs 入試 I (出願資格・選抜方法)

なお、(3)③については、本学ウェブサイトにて「本学において認定した 大学入学資格試験・統一試験一覧」を公表しております。一覧に掲載がない資格試験・統一試験で出願を希望する場合は、出願前に本学アドミッション・センター(入試課)へ問い合わせてください。

【注1】準ずる者とは、以下のいずれかに該当する者とする。

- ① 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者で 2028 年3月 31 日までに 18 歳に達するもの
- ② 正規の学校教育課程が 12 年に満たない国の高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者を含む。)で、文部科学大臣の指定する施設において日本の大学に入学するための準備教育課程を修了(2028 年3月 31 日までに修了見込みを含む。)したもの
- ③ 外国において、文部科学大臣が指定した 11 年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了(2028 年3月 31 日までに修了見込みを含む。)した者

選抜方法

第一次選抜: 下記の書類選考により行う。

(1) 次の①から③のいずれかのスコア

- ① SAT Reasoning Test 又は ACT (+ Optional Writing Test) のスコア
- ② 国際バカロレア最終試験又は見込みのスコア
- ③ 日本以外の国の大学入学資格試験又は統一試験のスコア

(2) TOEFL iBT 又は IELTS のスコア

(3) Essay Form(英語又は日本語)

第二次選抜: オンラインにより小論文及び面接(口頭試問を含む。)を行う。

* 小論文及び面接時の言語は英語又は日本語とする。

2028年度 T-GLIPs 入試 I (出願資格・選抜方法)

都市基盤環境学科	出願資格 次の(1)から(4)の全てに該当する者 (1)高等学校に相当する課程に関する要件として、次の①から⑤のいずれかに該当する者 ① 外国において、正規の学校教育における 12 年の課程を修了(卒業)した者(2028 年3月 31 日までに修了(卒業)見込みの者を含む。)及びこれに準ずる者【注1】 ② 日本において、外国の高等学校の課程相当として、文部科学大臣が指定した教育施設を 2028 年3月 31 日までに修了又は修了見込みの者 ③ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(※)の認定を受けた教育施設の 12 年の課程を 2028 年3月 31 日までに修了又は修了見込みの者 (※)詳細は文部科学省ウェブサイト“(※6)国際的な評価団体認定外国人学校について”を参照すること。 ④ 次の資格のいずれかを 2028 年3月 31 日までに取得又は取得見込みの者 - a.スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 - b.ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 - c.フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 - d.グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格。ただし、Aレベル3科目以上又はAレベル2科目とASレベル2科目の合計4科目を取得すること。 - e.欧州連合構成国において、大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格 ⑤ 高等学校と同等と認定された在外教育施設(文部科学大臣認定等在外教育施設(高等部を設置するもの)一覧)の課程を 2028 年 3 月 31 日までに修了又は修了見込みの者 (2)次の英語スコアを有する者、もしくは高等学校等(中等教育学校後期課程等)において英語による教育課程に修了年次を含め連続して4年以上、又は通算6年以上在籍した者 ・ケンブリッジ英語検定 170 以上(※1) ・IELTS 6.5 以上(※2) ・TOEFL iBT 90 以上(※3)(2026 年 1 月 20 日以前受験) 4.5 以上(※3)(2026 年 1 月 21 日以降受験) (※1)対象となる試験は、B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。 (※2)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※3)TestDate スコアのみを有効とする。 【重要】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 (3)合格した場合、本学への入学を確約できる者
----------	---

2028年度 T-GLIPs 入試 I (出願資格・選抜方法)

(4)成績状況として、次のいずれかに該当する者

- ①2026 年4月1日以降実施の SAT Reasoning Test のスコアが1270 以上
- ②2026 年4月1日以降実施の ACT (+ Optional Writing Test)のスコアが25 以上
- ③国際バカロレア資格のスコア(見込みを含む。)が 38 以上、ただし6科目中に数学及び物理の2科目を含んでいる者
- ④出願時点において高等学校等(中等教育学校後期課程等)における過去2年間分の成績順位の証明が出来る者。なお、全科目の上位 30%以内又は数学及び理科(物理)の成績順位がいずれも上位 20%以内であること

【注1】準ずる者とは、以下のいずれかに該当する者とする。

- ① 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者で 2028 年3月 31 日までに 18 歳に達するもの
- ② 正規の学校教育課程が 12 年に満たない国の高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者を含む。)で、文部科学大臣の指定する施設において日本の大学に入学するための準備教育課程を修了(2028 年3月 31 日までに修了見込みを含む。)したもの
- ③ 外国において、文部科学大臣が指定した 11 年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了(2028 年3月 31 日までに修了見込みを含む。)した者

選抜方法

第一次選抜と第二次選抜により実施する。

(1)第一次選抜

出願資格(4)の成績状況(※)、Essay form(英語)、英語スコアによる書類選考。

※出願資格(4)④は、高等学校の成績証明書その他、成績順位等を含む。成績は特に物理を重視する。

(2)第二次選抜

オンラインにより面接(プレゼンテーション及び口頭試問を含む。)を行う。

* 面接時の言語は英語とする。

2028年度 T-GLIPs 入試 I (出願資格・選抜方法)

環境応用化学科	出願資格 次の(1)から(3)の全てに該当する者 (1) 次の①から⑥のいずれかに該当する者 ① 日本国内に所在する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月31日までに卒業又は卒業見込みの者 ② 外国において、正規の学校教育における12年の課程を修了(卒業)した者(2028年3月31日までに修了(卒業)見込みの者を含む。)及びこれに準ずる者【注1】 ③ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(※)の認定を受けた教育施設の12年の課程を2028年3月31日までに修了又は修了見込みの者(※)詳細は文部科学省ウェブサイト“(※6)国際的な評価団体認定外国人学校について”を参照してください。 ④ 国際バカロレア機構が提供する国際バカロレア資格(IB ディプロマ)を2028年3月31日までに取得又は取得見込みの者 ⑤ 日本において、外国の高等学校の課程相当として、文部科学大臣が指定した教育施設を2028年3月31日までに修了又は修了見込みの者 ⑥ 高等学校と同等と認定された在外教育施設(文部科学大臣認定等在外教育施設(高等部を設置するもの)一覧)の課程を2028年3月31日までに修了又は修了見込みの者 (2) 2026年4月1日以降実施の TOEFL iBT 又は IELTS アカデミック・モジュールを受験した者 但し、TOEFL iBT Home Edition 及び IELTS Online は認めない。 (3) 次の①か②のいずれかに該当する者 ① 2026年4月1日以降実施の SAT Reasoning Test 又は ACT (+ Optional Writing Test)を受験した者 ② 国際バカロレア資格の取得(見込みを含む。)において、6科目中に化学と数学、及び物理または生物の計3科目を含んでいる者(レベルは問わない。) 【注1】準ずる者とは、以下のいずれかに該当する者とする。 ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者で2028年3月31日までに18歳に達するもの ② 正規の学校教育課程が12年に満たない国の高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者を含む。)で、文部科学大臣の指定する施設において日本の大学に入学するための準備教育課程を修了(2028年3月31日までに修了見込みを含む。)したもの ③ 外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了(2028年3月31日までに修了見込みを含む。)した者
---------	--

2028年度 T-GLIPs 入試 I (出願資格・選抜方法)

	選抜方法 第一次選抜: 下記の書類選考により行う。 (1) 次の①か②のいずれかのスコア ① SAT Reasoning Test 又は ACT (+ Optional Writing Test) のスコア ② 国際バカロレア最終試験又は見込みのスコア (2) TOEFL iBT 又は IELTS のスコア (3) Essay Form (英語) 第二次選抜: オンラインにより面接(口頭試問を含む。)を行う。 * 面接時の言語は英語とする。
--	---

2028年度 T-GLIPs 入試 I (出願資格・選抜方法)

観光科学科	出願資格 次の(1)から(3)の全てに該当する者 (1)次の①から⑥のいずれかに該当する者 ① 日本国内に所在する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2028年3月31日までに卒業又は卒業見込みの者 ② 外国において、正規の学校教育における12年の課程を修了(卒業)した者(2028年3月31日までに修了(卒業)見込みの者を含む。)及びこれに準ずる者【注1】 ③ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(※)の認定を受けた教育施設の12年の課程を2028年3月31日までに修了又は修了見込みの者(※)詳細は文部科学省ウェブサイト“(※6)国際的な評価団体認定外国人学校について”を参照してください。 ④ 次の資格のいずれかを2028年3月31日までに取得又は取得見込みの者 a. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 b. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 c. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 d. グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格。ただし、Aレベル3科目以上又はAレベル2科目とASレベル2科目の合計4科目を取得すること。 e. 欧州連合構成国において、大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格 ⑤ 日本において、外国の高等学校の課程相当として、文部科学大臣が指定した教育施設を2028年3月31日までに修了又は修了見込みの者 ⑥ 高等学校と同等と認定された在外教育施設(文部科学大臣認定等在外教育施設(高等部を設置するもの)一覧)の課程を2028年3月31日までに修了又は修了見込みの者 (2)2026年4月1日以降実施の TOEFL iBT 又は IELTS アカデミック・モジュールを受験した者 但し、TOEFL iBT Home Edition 及び IELTS Online は認めない。 (3)次の①から③のいずれかに該当する者 ① 2026年4月1日以降実施の SAT Reasoning Test 又は ACT (+ Optional Writing Test)を受験した者 ② 国際バカロレア資格の取得(見込みを含む。)において、6科目中に地理、化学、物理、環境システムと社会のうちいずれか2科目、及び数学を含んでいる者(レベルは問わない。) ③ 日本以外の国の大学入学資格試験又は統一試験を2024年以降に受験した者で、受験した試験の成績証明書及び試験に関する公式資料を提出できるもの。ただし、試験には化学、物理、地球科学等に相当する科目、及び数学を含んでいること。
-------	---

2028年度 T-GLIPs 入試 I (出願資格・選抜方法)

なお、(3)③については、本学ウェブサイトにて「本学において認定した 大学入学資格試験・統一試験一覧」を公表しております。一覧に掲載がない 資格試験・統一試験で出願を希望する場合は、出願前に本学アドミッション・センター(入試課)へ問い合わせてください。

【注1】準ずる者とは、以下のいずれかに該当する者とする。

- ① 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者で 2028 年3月 31 日までに 18 歳に達するもの
- ② 正規の学校教育課程が 12 年に満たない国の高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者を含む。)で、文部科学大臣の指定する施設において日本の大学に入学するための準備教育課程を修了(2028 年3月 31 日までに修了見込みを含む。)したもの
- ③ 外国において、文部科学大臣が指定した 11 年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了(2028 年3月 31 日までに修了見込みを含む。)した者

選抜方法

第一次選抜: 下記の書類選考により行う。

(1) 次の①から③のいずれかのスコア

- ① SAT Reasoning Test 又は ACT (+ Optional Writing Test) のスコア
- ② 国際バカロレア最終試験又は見込みのスコア
- ③ 日本以外の国の大学入学資格試験又は統一試験のスコア

(2) TOEFL iBT 又は IELTS のスコア

(3) Essay Form(英語又は日本語)

第二次選抜: オンラインによりプレゼンテーション及び面接(口頭試問を含む。)を行う。

* プレゼンテーション及び面接時の言語は英語又は日本語とする。

2028年度 T-GLIPs 入試Ⅱ(出願資格・選抜方法)

都市環境学部【2026 年 7 月 10 日変更分】赤字部分

都市基盤環境学科	出願資格 次の(1)から(4)の要件をすべて満たす者 (1)高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)(※)を 2028 年3月卒業見込みの者又は 2027 年4月以降に卒業した者 (※)日本の高等学校等に限る。インターナショナルスクールや外国の学校等は対象としない。 (2)次の外部英語検定試験のいずれかのスコアを有する者 ・実用英語技能検定 準1級 2600 以上、1級 2600 以上(※1) ・ケンブリッジ英語検定 170 以上(※2) ・IELTS 6.5 以上(※3) ・TOEFL iBT 90 以上(※4) (2026 年 1 月 20 日以前受験) 4.5 以上(※4) (2026 年 1 月 21 日以降受験) (※1)各級の指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。S-CBT・S-interview 方式についても有効とする。 (※2)対象となる試験は、B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。 (※3)IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 (※4)TestDate スコアのみを有効とする。 【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。各種試験の自宅受験版のスコアは認めない。 (3)合格した場合、本学への入学を確約できる者 (4)高等学校における成績として、次のいずれかに該当する者 ①高等学校等入学時から出願時までの「全体の学習成績の状況」が 3.8 以上の者 ②高等学校等入学時から出願時までの数学の学習成績の状況及び理科(物理を含む)の学習成績の状況がいずれも 4.0 以上の者 選抜方法 第一次選抜と第二次選抜により実施する。 (1)第一次選抜 調査書、Essay form(英語)、外部英語検定試験のスコアによる書類選考。 (2)第二次選抜 オンラインにより面接(プレゼンテーション及び口頭試問を含む。)を行う。言語は英語とする。
----------	---

2028年度社会人入試（出願資格・選抜方法）

人文社会学部	
人間社会学科	出願資格 (1) 日本国内に所在する高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を卒業した者又は高等専門学校の3年次を修了した者で2028年4月1日現在満 24 歳以上の社会人であること。ただし、出願時に学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)に規定する学校に在籍する者は除く。 (2) 2026年4月1日以降実施の TOEFL iBT(但し、TOEFL iBT Home Edition を除く)を受験し、出願期間までに TOEFL 公式スコア(Official Score Report)が本学に到着するよう手続きをとること。 選抜方法 TOEFL iBT スコア、小論文、プレゼンテーション及び面接(口頭試問を含む。)により総合的に判定する。
人文学科	
健康福祉学部	
看護学科	出願資格 (1) 学士の学位を有する者(2028年3月31日までに取得見込みの者を含む。)であり、かつ、出願時点で社会人経験1年以上を有するもの (2) 看護学科を希望する者は、看護師・准看護師・保健師・助産師いずれの国家資格も有していないもの また、2025年11月1日以降実施の TOEFL(iBT に限る。但し、TOEFL iBT Home Edition を除く。)を受験し、TOEFL 受験者用控えスコア(Examinee Score Record)の写しを出願時に提出するとともに、出願期間までに TOEFL 公式スコア(Official Score Report)が本学に到着するよう手続きをとること。 (3) 作業療法学科を希望する者は、作業療法士の国家資格を有していないもの 選抜方法 自己推薦書(受験理由書)、成績証明書、履歴書等による社会人経験、小論文、面接及び TOEFL iBT スコア(看護学科のみ。)により総合的に判断する。
作業療法学科	

2028年度帰国子女入試(出願資格・選抜方法)

出願資格【2026年7月10日変更分】赤字部分

人文社会学部

日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者その他これに準ずる者で、外国で学校教育を受けたことのあるもの(現に受けているものを含む。)のうち、次の(1)から(5)のいずれかに該当し、さらに(6)の要件を満たすもの。ただし、外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。

(1) 外国において、正規の学校教育における12年の課程のうち最終学年を含む課程に2学年以上継続して在学し、2026年4月1日から2028年3月31日までに修了(卒業)した者又は修了(卒業)見込みの者

(2) 外国において、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体^(※)の認定を受けた教育施設の12年の課程のうち最終学年を含む課程に2学年以上継続して在学し、2026年4月1日から2028年3月31日までに修了(卒業)した者又は修了(卒業)見込みの者
(※)詳細は文部科学省ウェブサイト“(※6)国際的な評価団体認定外国人学校について”を参照してください。

(3) 日本の高等学校【注1】を2028年3月31日までに卒業見込みの者のうち、中学校及び高等学校の課程を通じて3学年以上【注2】外国の学校で教育を受け、かつ、日本の高等学校【注1】の在籍期間が2年未満のもの

(4) 2026年4月1日以降に、外国において次のいずれかの資格を取得した者(国際バカロレア資格については2028年3月31日までに取得見込みの者を含む。)

- a. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を取得した者又は2028年3月31日取得見込みの者
- b. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者
- c. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者
- d. グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格で、Aレベル3科目以上若しくはAレベル2科目とASレベル2科目の合計4科目を取得した者
- e. 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を取得した者

(5) 上記(1)から(4)に準ずる学力を習得していると本学が認めた者で2028年3月31日までに18歳に達する者

(6) 2026年4月1日以降実施の次のいずれかの外部外国語検定試験スコアを有する者

<英語>	・TOEFL iBT ^(※1)	31 以上(2026年1月20日以前受験) 2.5 以上(2026年1月21日以降受験)
<ドイツ語>	・ドイツ語技能検定試験(独検) ・GOETHE-ZERTIFIKAT	3級以上 A2 以上 ^(※2)

(※1)TOEFL iBT Home Edition は不可。

(※2)GOETHE-ZERTIFIKAT A2: FIT IN DEUTSCH/ゲーテ・ドイツ語検定試験 A2 でも可。

<フランス語>	・実用フランス語技能検定試験(仏検) ・DEL F/DEL F ジュニア/DAL F	準2級以上 A2 以上
<中国語>	・中国語検定(中検) ・HSK(漢語水平考試)	準4級以上 2級以上

【注1】 中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の高等部を含む。

【注2】 通算 36 ヶ月以上在籍していた者を含む。

2028年度帰国子女入試(出願資格・選抜方法)

出願資格	
法学部 理学部 都市環境学部 環境応用化学科	日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者その他これに準ずる者で、外国で学校教育を受けたことのあるもの(現に受けているものを含む。)のうち、次の(1)から(5)のいずれかに該当し、さらに(6)の要件を満たすもの。ただし、外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。 (1) 外国において、正規の学校教育における12年の課程のうち最終学年を含む課程に2学年以上継続して在学し、2026年4月1日から2028年3月31日までに修了(卒業)した者又は修了(卒業)見込みの者 (2) 外国において、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体^(※)の認定を受けた教育施設の12年の課程のうち最終学年を含む課程に2学年以上継続して在学し、2026年4月1日から2028年3月31日までに修了(卒業)した者又は修了(卒業)見込みの者 (※)詳細は文部科学省ウェブサイト“(※6)国際的な評価団体認定外国人学校について”を参照してください。 (3) 日本の高等学校【注1】を2028年3月31日までに卒業見込みの者のうち、中学校及び高等学校の課程を通じて3学年以上【注2】外国の学校で教育を受け、かつ、日本の高等学校【注1】の在籍期間が2年未満のもの (4) 2026年4月1日以降に、外国において次のいずれかの資格を取得した者(国際バカロレア資格については2028年3月31日までに取得見込みの者を含む。) a. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を取得した者又は2028年3月31日取得見込みの者 b. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者 c. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者 d. グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格で、Aレベル3科目以上若しくはAレベル2科目とASレベル2科目の合計4科目を取得した者 e. 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を取得した者 (5) 上記(1)から(4)に準ずる学力を習得していると本学が認めた者で2028年3月31日までに18歳に達する者 (6) 2026年4月1日以降実施の TOEFL iBT を受験した者(理学部全学科、都市環境学部環境応用化学科については、2026年4月1日以降実施の IELTS アカデミック・モジュールを受験した者でも可)【注3】 【注1】中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の高等部を含む。 【注2】通算 36 ヶ月以上在籍していた者を含む。 【注3】TOEFL iBT Home Edition 及び IELTS Online は不可。

2028年度帰国子女入試(出願資格・選抜方法)

出願資格	
システムデザイン学部	日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者その他これに準ずる者で、外国で学校教育を受けたことのあるもの(現に受けているものを含む。)のうち、次の(1)から(5)のいずれかに該当し、さらに(6)の要件を満たすもの。ただし、外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。 (1) 外国において、正規の学校教育における12年の課程のうち最終学年を含む課程に2学年以上継続して在学し、2026年4月1日から2028年3月31日までに修了(卒業)した者又は修了(卒業)見込みの者 (2) 外国において、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体^(※)の認定を受けた教育施設の12年の課程のうち最終学年を含む課程に2学年以上継続して在学し、2026年4月1日から2028年3月31日までに修了(卒業)した者又は修了(卒業)見込みの者 (※)詳細は文部科学省ウェブサイト“(※6)国際的な評価団体認定外国人学校について”を参照してください。 (3) 日本の高等学校【注1】を2028年3月31日までに卒業見込みの者のうち、中学校及び高等学校の課程を通じて3学年以上【注2】外国の学校で教育を受け、かつ、日本の高等学校【注1】の在籍期間が2年未満のもの (4) 2026年4月1日以降に、外国において次のいずれかの資格を取得した者(国際バカロレア資格については2028年3月31日までに取得見込みの者を含む。) a. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を取得した者又は2028年3月31日取得見込みの者 b. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者 c. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者 d. グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格で、Aレベル3科目以上若しくはAレベル2科目とASレベル2科目の合計4科目を取得した者 e. 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を取得した者 (5) 上記(1)から(4)に準ずる学力を習得していると本学が認めた者で2028年3月31日までに18歳に達する者 (6) 2026年4月1日以降実施のTOEIC L&R/S&W、TOEFL iBT又はIELTS アカデミック・モジュールを受験した者【注3】 【注1】中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の高等部を含む。 【注2】通算36ヶ月以上在籍していた者を含む。 【注3】TOEFL iBT Home Edition及びIELTS Onlineは不可。

2028年度帰国子女入試(出願資格・選抜方法)

選抜方法	
人文社会学部	第1次選抜：出願書類(外部外国語検定試験のスコアを含む。)により第1次選抜を行う。大学入学共通テストは課さない。 第2次選抜： ○学力検査(試験問題は、一般選抜と同一の問題を用いる。) 国語 地理歴史(日本史又は世界史から1科目選択) ※出題範囲は「歴史総合・日本史探究」「歴史総合・世界史探究」 ○面接(口頭試問を含む。)
法学部	第1次選抜：出願書類(TOEFL iBT のスコアを含む。)により第1次選抜を行う。大学入学共通テストは課さない。 第2次選抜： ○学力検査(試験問題は、一般選抜と同一の問題を用いる。) 国語 ○面接
理学部	第1次選抜：出願書類(TOEFL iBT 又は IELTS のスコアを含む。)により第1次選抜を行う。大学入学共通テストは課さない。 第2次選抜： ○学力検査(試験問題は、一般選抜と同一の問題を用いる。) 数学[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ・数学C] ＊数理科学科は、共通の問題の他、数理科学科のみの問題がある。 理科 数理科学科：[物理基礎・物理](指定) 物理学科：[物理基礎・物理](指定)、([化学基礎・化学]、[生物基礎・生物]及び[地学基礎・地学]から1科目選択)計2科目 化学科：[化学基礎・化学](指定)、([物理基礎・物理]、[生物基礎・生物]及び[地学基礎・地学]から1科目選択)計2科目 生命科学科：[物理基礎・物理]、[化学基礎・化学]、[生物基礎・生物]及び[地学基礎・地学]から2科目選択 ○面接(口頭試問を含む。)

2028年度帰国子女入試(出願資格・選抜方法)

都市環境学部 環境応用化学科	第1次選抜：出願書類(TOEFL iBT 又は IELTS のスコアを含む。)により第1次選抜を行う。大学入学共通テストは課さない。 第2次選抜： ○学力検査(試験問題は、一般選抜と同一の問題を用いる。) 数学[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ・数学C] 理科 [物理基礎・物理]又は[化学基礎・化学]から1科目選択 ○面接(口頭試問を含む。)
システムデザイン学部	第1次選抜：出願書類(TOEIC L&R/S&W、TOEFL iBT 又は IELTS のスコアは除く。)により第1次選抜を行う。大学入学共通テストは課さない。 第2次選抜： ○学力検査(試験問題は、一般選抜と同一の問題を用いる。) 数学[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ・数学C] 理科 情報科学科：([物理基礎・物理]、[化学基礎・化学]及び[生物基礎・生物]から1科目選択) 電気電子工学科、機械システム工学科、航空宇宙システム工学科： [物理基礎・物理](指定) *インダストリアルアート学科は理科を課さない。 外国語(TOEIC L&R/S&W、TOEFL iBT 又は IELTS を利用) 造形表現 インダストリアルアート学科のみ ○面接(口頭試問を含む。)

2028年度 特別選抜(帰国子女入試) 個別学力検査 教科・科目等

学部・学科等		国語 (注1)	地理歴史	理科 (注2)	数学 (注3)	外国語	その他
人文社会科学部	人間社会学科	[国語]	* [日本史] * [世界史] (注7) 【*から1科目選択】			[外国語] (注4)	[面接] (口頭試問を含む。)
	人文学科						
法学部	法学科	[国語]				[英語] (注5)	[面接]
理学部	数理科学科			[物理基礎・物理]	〔 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ・数学C 〕	[英語] (注5)	[面接] (口頭試問を含む。)
	物理学科			指定[物理基礎・物理] * [化学基礎・化学] * [生物基礎・生物] * [地学基礎・地学] 【*から1科目選択】 合計2科目	〔 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ・数学C 〕	[英語] (注5)	[面接] (口頭試問を含む。)
	化学科			指定[化学基礎・化学] * [物理基礎・物理] * [生物基礎・生物] * [地学基礎・地学] 【*から1科目選択】 合計2科目	〔 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ・数学C 〕	[英語] (注5)	[面接] (口頭試問を含む。)
	生命科学科			* [物理基礎・物理] * [化学基礎・化学] * [生物基礎・生物] * [地学基礎・地学] 【*から2科目選択】	〔 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ・数学C 〕	[英語] (注5)	[面接] (口頭試問を含む。)
都市環境学部	環境応用化学科			* [物理基礎・物理] * [化学基礎・化学] 【*から1科目選択】	〔 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ・数学C 〕	[英語] (注5)	[面接] (口頭試問を含む。)
システムデザイン学部	情報科学科			* [物理基礎・物理] * [化学基礎・化学] * [生物基礎・生物] 【*から1科目選択】	〔 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ・数学C 〕	[英語] (注6)	[面接] (口頭試問を含む。)
	電気電子工学科			[物理基礎・物理]	〔 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ・数学C 〕	[英語] (注6)	[面接] (口頭試問を含む。)
	機械システム工学科						
	航空宇宙システム工学科						
	インダストリアルアート学科				〔 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ・数学C 〕	[英語] (注6)	[造形表現] (注8) [面接] (口頭試問を含む。)

〔注意〕 試験問題は、一般選抜と同一の問題を用いる。

(注1) 国語の出題範囲は検討中。

(注2) 理科については各科目、基礎を付した科目(物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎)と基礎を付していない科目(物理、化学、生物、地学)をあわせて1科目とし、出題範囲は全範囲とする。

(注3) 数学の出題範囲は検討中。

(注4) TOEFL iBTの場合は、出願期間までに本学へスコアが到着するよう手続きをすること。

TOEFL iBT以外の外部外国語検定試験の場合は、出願書類に成績証明書等を同封すること。

(注5) TOEFL iBTを受験の上、出願期間までに本学へスコアが到着するよう手続きをすること。

(理学部全学科、都市環境学部環境応用化学科については、IELTSのスコアでも可。)

(注6) TOEIC L&R/S&W、TOEFL iBT又はIELTSを受験の上、出願期間までに本学へスコアが到着するよう手続きをすること。

(注7) [日本史]、[世界史]の出題範囲は「歴史総合・日本史探究」、「歴史総合・世界史探究」である。

(注8) インダストリアルアート学科の造形表現では、デッサン等を行う。試験当日は、黒鉛筆各種、消しゴム又は練り消しゴム、擦筆、羽根ぼうき、鉛筆削り(電動式は不可)、フィキサチーフ(定着液)及びクリップ2個以上(又はマスキングテープ)を持参すること。
なお、クリップは目玉クリップ又はバインダークリップのいずれでも可とする。

2028年度私費外国人留学生入試(出願資格・選抜方法)

出願資格【2026 年 7 月 10 日変更分】赤字部分

人文社会学部 法学部 理学部 都市環境学部 建築学科 環境応用化学科 都市政策科学科	次の(1)のいずれかに該当する外国人であって、さらに(2)の要件を満たす者 (1)① 外国において、正規の学校教育における12年の課程を修了(卒業)した者(2028年3月31日までに修了(卒業)見込みの者を含む。)(注1)及びこれに準ずる者【注2】 ② 外国において、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(※)の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了(卒業)した者(2028年3月31日までに修了(卒業)見込みの者を含む。)(注1) (※)詳細は文部科学省ウェブサイト“(※6)国際的な評価団体認定外国人学校について”を参照してください。 ③ 外国において、次のいずれかの資格を取得した者(国際バカロレア資格については、2028年3月31日までに取得見込みの者を含む。) a. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を取得した者又は2028年3月31日までに取得見込みの者 b. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者 c. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者 d. グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格で、Aレベル3科目以上若しくはAレベル2科目とASレベル2科目の合計4科目を取得した者 e. 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を取得した者 ④ 上記①から③に準ずる学力を習得していると本学が認めた者で2028年3月31日までに18歳に達する者 (2) 独立行政法人 日本学生支援機構が行う2026年度又は2027年度実施の日本留学試験のうち、本学の指定する教科・科目を受験し、かつ、2026年4月1日以降実施のTOEFL iBTを受験した者(理学部全学科、都市環境学部建築学科、環境応用化学科、都市政策科学科については、2026年4月1日以降実施のIELTS アカデミック・モジュールを受験した者でも可)【注3】 【注1】日本の中学校及び高等学校又は中等教育学校(※1)に在籍していた場合は、その期間が通算して3年以内であり、かつ、12年目の課程を外国の学校(※2)で修了(卒業)した者に限り出願を認める。 (※1)外国に所在する日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校を含む。 (※2)外国の学校とは、外国に所在し、日本以外の国の正規の教育制度に準拠する学校又は国際的な評価団体の認定を受けた教育施設をいう。 【注2】準ずる者とは、以下のいずれかに該当する者とする。 ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者で2028年3月31日までに18歳に達する者 ② 正規の学校教育課程が12年に満たない国の高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者を含む。)で、文部科学大臣の指定する施設において日本の大学に入学するための準備教育課程を修了(2028年3月31日までに修了見込みを含む。)した者 ③ 外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了(2028年3月31日までに修了見込みを含む。)した者 【注3】TOEFL iBT Home Edition 及び IELTS Online は不可。
--	---

2028年度私費外国人留学生入試(出願資格・選抜方法)

経済経営学部	次の(1)のいずれかに該当する外国人であって、さらに(2)及び(3)の要件を満たす者 (1)① 外国において、正規の学校教育における12年の課程を修了(卒業)した者(2028年3月31日までに修了(卒業)見込みの者を含む。)【注1】及びこれに準ずる者【注2】 ② 外国において、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体^(※)の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了(卒業)した者(2028年3月31日までに修了(卒業)見込みの者を含む。)【注1】 (※)詳細は文部科学省ウェブサイト“(※6)国際的な評価団体認定外国人学校について”を参照してください。 ③外国において、次のいずれかの資格を取得した者(国際バカロレア資格については、2028年3月31日までに取得見込みの者を含む。) a.スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を取得した者又は2028年3月31日までに取得見込みの者 b.ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者 c.フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者 d.グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格で、Aレベル3科目以上若しくはAレベル2科目とASレベル2科目の合計4科目を取得した者 e.欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を取得した者 ④ 上記①から③に準ずる学力を習得していると本学が認めた者で2028年3月31日までに18歳に達する者 (2) 独立行政法人 日本学生支援機構が行う2026年度又は2027年度実施の日本留学試験のうち、本学の指定する教科・科目を受験した者 (3) 2026年4月1日以降実施の次のいずれかの外部外国語検定試験スコアを有する者 ・TOEFL iBT 42以上(2026年1月20日以前受験) 3.0以上(2026年1月21日以降受験) ・IELTS アカデミック・モジュール 4.0以上 TOEFL iBT Home Edition 及び IELTS Online は不可。 【注1】日本の中学校及び高等学校又は中等教育学校(※1)に在籍していた場合は、その期間が通算して3年以内であり、かつ、12年目の課程を外国の学校(※2)で修了(卒業)した者に限り出願を認める。 (※1)外国に所在する日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校を含む。 (※2)外国の学校とは、外国に所在し、日本以外の国の正規の教育制度に準拠する学校又は国際的な評価団体の認定を受けた教育施設をいう。 【注2】準ずる者とは、以下のいずれかに該当する者とする。 ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずる者を含む。)に合格した者で2028年3月31日までに18歳に達する者 ② 正規の学校教育課程が12年に満たない国の高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者を含む。)で、文部科学大臣の指定する施設において日本の大学に入学するための準備教育課程を修了(2028年3月31日までに修了見込みを含む。)した者 ③ 外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了(2028年3月31日までに修了見込みを含む。)した者
--------	---

2028年度私費外国人留学生入試(出願資格・選抜方法)

システムデザイン学部	次の(1)のいずれかに該当する外国人であって、さらに(2)の要件を満たす者 (1)① 外国において、正規の学校教育における12年の課程を修了(卒業)した者(2028年3月31日までに修了(卒業)見込みの者を含む。)【注1】及びこれに準ずる者【注2】 ② 外国において、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体^(※)の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了(卒業)した者(2028年3月31日までに修了(卒業)見込みの者を含む。)【注1】 (※)詳細は文部科学省ウェブサイト“(※6)国際的な評価団体認定外国人学校について”を参照してください。 ③外国において、次のいずれかの資格を取得した者(国際バカロレア資格については、2028年3月31日までに取得見込みの者を含む。) a.スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を取得した者又は2028年3月31日までに取得見込みの者 b.ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者 c.フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者 d.グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格で、Aレベル3科目以上若しくはAレベル2科目とASレベル2科目の合計4科目を取得した者 e.欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を取得した者 ④ 上記①から③に準ずる学力を習得していると本学が認めた者で2028年3月31日までに18歳に達する者 (2) 独立行政法人 日本学生支援機構が行う2026年度または2027年度実施の日本留学試験のうち、本学の指定する教科・科目を受験し、かつ、2026年4月1日以降実施のTOEIC L&R/S&W、TOEFL iBT 又は IELTS アカデミック・モジュールを受験した者【注3】 【注1】日本の中学校及び高等学校又は中等教育学校(※1)に在籍していた場合は、その期間が通算して3年以内であり、かつ、12年目の課程を外国の学校(※2)で修了(卒業)した者に限り出願を認める。 (※1)外国に所在する日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校を含む。 (※2)外国の学校とは、外国に所在し、日本以外の国の正規の教育制度に準拠する学校又は国際的な評価団体の認定を受けた教育施設をいう。 【注2】準ずる者とは、以下のいずれかに該当する者とする。 ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者で2028年3月31日までに18歳に達する者 ② 正規の学校教育課程が12年に満たない国の高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者を含む。)で、文部科学大臣の指定する施設において日本の大学に入学するための準備教育課程を修了(2028年3月31日までに修了見込みを含む。)した者 ③ 外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了(2028年3月31日までに修了見込みを含む。)した者 【注3】TOEFL iBT Home Edition 及び IELTS Online は不可。
------------	--

2028年度私費外国人留学生入試(出願資格・選抜方法)

選抜方法	
人文社会学部 【2月実施】	第1次選抜:日本留学試験の成績及び TOEFL iBT の成績により行う。 ○日本留学試験の利用教科・科目(なお、出題言語は日本語とする。) 日本語、総合科目及び数学(コース指定なし) 第2次選抜: ○学力検査(試験問題は、一般選抜と同一の問題を用いる。) 小論文 ○面接(口頭試問を含む。)
法学部 【2月実施】	第1次選抜:日本留学試験の成績により行う。 ○日本留学試験の利用教科・科目(なお、出題言語は日本語とする。) 日本語、総合科目及び数学(コース指定なし) 第2次選抜: ○学力検査(地理歴史は、特別選抜独自の問題を用いる。) 外国語(TOEFL iBT を利用) 地理歴史(日本史又は世界史から1科目選択) ○面接(面接時に日本語による簡単な作文も課す。)
経済経営学部 【11月実施】	第1次選抜:日本留学試験の成績により行う。 ○日本留学試験の利用教科・科目(なお、出題言語は日本語とする。) 日本語、総合科目及び数学(コース1又はコース2) ※数学で選択したコースに応じて、配点が異なる(詳細は「日本留学試験における受験すべき教科・科目等」を参照。) 第2次選抜: ○学力検査 外国語(TOEFL iBT 又は IELTS を利用) ○小論文(数学・統計、並びに、社会・時事問題等に関する受験者の知識や意見を問う。) ○面接(受験動機・大学で希望する学習内容・大学卒業後の進路等を問う面接並びに数学及び社会・時事問題等に関する口頭試問を行う。)

2028年度私費外国人留学生入試(出願資格・選抜方法)

理学部 【2月実施】	第1次選抜:日本留学試験の成績により行う。 ○日本留学試験の利用教科・科目(なお、出題言語は日本語とする。) 数理科学科:日本語、理科(物理、化学及び生物から2科目選択)及び数学(コース2) 物理学科:日本語、理科(物理(指定)、化学又は生物から1科目選択)及び数学(コース2) 化学科:日本語、理科(化学(指定)、物理又は生物から1科目選択)及び数学(コース2) 生命科学科:日本語、理科(物理、化学及び生物から2科目選択)及び数学(コース2) 第2次選抜: ○学力検査(試験問題は、一般選抜と同一の問題を用いる。) 数理科学科:外国語(TOEFL iBT 又は IELTS を利用)及び数学[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ・数学C] 物理学科:外国語(TOEFL iBT 又は IELTS を利用)、数学[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ・数学C]及び理科(物理) 化学科:外国語(TOEFL iBT 又は IELTS を利用)、数学[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ・数学C]及び理科(化学) 生命科学科:外国語(TOEFL iBT 又は IELTS を利用)、数学[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ・数学C]及び理科(物理、化学、生物及び地学から1科目選択) ○面接(口頭試問を含む。)
都市環境学部 建築学科 環境応用化学科 都市政策科学科 【2月実施】	第1次選抜:日本留学試験の成績により行う。 ○日本留学試験の利用教科・科目(なお、出題言語は日本語とする。) 環境応用化学科:日本語、理科(物理及び化学(2科目指定))及び数学(コース2) 建築学科:日本語、理科(物理)及び数学(コース2) 都市政策科学科:日本語、総合科目及び数学(コース指定なし) 第2次選抜: ○学力検査(試験問題は、一般選抜と同一の問題を用いる。) 環境応用化学科:外国語(TOEFL iBT 又は IELTS を利用。)、数学[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ・数学C]及び理科(物理又は化学から1科目選択) 建築学科:外国語(TOEFL iBT 又は IELTS を利用)、数学[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ・数学C]及び理科(物理) 都市政策科学科:外国語(TOEFL iBT 又は IELTS を利用)、地理歴史(※)又は数学[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学C]から1教科選択 (※)歴史総合・日本史探究、歴史総合・世界史探究及び地理総合・地理探究から1科目選択 ○面接(口頭試問を含む。)

2028年度私費外国人留学生入試(出願資格・選抜方法)

システムデザイン学部 【2月実施】	第1次選抜：日本留学試験の成績により行う。 ○日本留学試験の利用教科・科目(なお、出題言語は日本語とする。) 情報科学科、インダストリアルアート学科： 日本語、理科(物理、化学及び生物から2科目選択)及び数学(コース2) 電気電子工学科、機械システム工学科、航空宇宙システム工学科： 日本語、理科(物理(指定)、化学又は生物から1科目選択)及び数学(コース2) 第2次選抜： ○学力検査(試験問題は、一般選抜と同一の問題を用いる。) 情報科学科：外国語(TOEIC L&R/S&W、TOEFL iBT 又は IELTS を利用)、 数学[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ・数学C] 及び理科(物理、化学、生物から1科目選択) 電気電子工学科、機械システム工学科、航空宇宙システム工学科： 外国語(TOEIC L&R/S&W、TOEFL iBT 又は IELTS を利用)、 数学[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ・数学C]及び理科(物理) インダストリアルアート学科： 外国語(TOEIC L&R/S&W、TOEFL iBT 又は IELTS を利用)、 数学[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ・数学C]及び造形表現 ○面接(口頭試問を含む。)
------------------------------	---

2028年度 特別選抜(私費外国人留学生)個別学力検査 教科・科目等

学部・学科等		地 理 歴 史	理 科 (注1)	数 学 (注2)	外 国 語 (注3)	その他
人文学部	人間社会学科				TOEFL iBT	[面接] (口頭試問を含む。) [小論文]
	人文学科					
法学部	法学科	*[日本史] *[世界史] 【*から1科目選択】			TOEFL iBT	[面接] (日本語による簡単な作文を含む。)
経済経営学部	経済経営学科(11月実施)				TOEFL iBT 又はIELTS	[小論文] [面接] (口頭試問を含む。)
理学部	数理科学科			〔 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ・数学C 〕	TOEFL iBT 又はIELTS	[面接] (口頭試問を含む。)
	物理学科		[物理基礎・物理]	〔 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ・数学C 〕	TOEFL iBT 又はIELTS	[面接] (口頭試問を含む。)
	化学科		[化学基礎・化学]	〔 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ・数学C 〕	TOEFL iBT 又はIELTS	[面接] (口頭試問を含む。)
	生命科学科		*[物理基礎・物理] *[化学基礎・化学] *[生物基礎・生物] *[地学基礎・地学] 【*から1科目選択】	〔 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ・数学C 〕	TOEFL iBT 又はIELTS	[面接] (口頭試問を含む。)
都市環境学部	環境応用化学科		*[物理基礎・物理] *[化学基礎・化学] 【*から1科目選択】	〔 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ・数学C 〕	TOEFL iBT 又はIELTS	[面接] (口頭試問を含む。)
	建築学科		[物理基礎・物理]	〔 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ・数学C 〕	TOEFL iBT 又はIELTS	[面接] (口頭試問を含む。)
	都市政策科学科	*[歴史総合・日本史探究] *[歴史総合・世界史探究] *[地理総合・地理探究] 【*から1科目選択】		*〔 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学C 〕	TOEFL iBT 又はIELTS	[面接] (口頭試問を含む。)
システムデザイン学部	情報科学科		*[物理基礎・物理] *[化学基礎・化学] *[生物基礎・生物] 【*から1科目選択】	〔 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ・数学C 〕	TOEIC L&R/S&W、 TOEFL iBT又はIELTS	[面接] (口頭試問を含む。)
	電気電子工学科		[物理基礎・物理]	〔 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ・数学C 〕	TOEIC L&R/S&W、 TOEFL iBT又はIELTS	[面接] (口頭試問を含む。)
	機械システム工学科					
	航空宇宙システム工学科					
	インダストリアルアート学科			〔 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ・数学C 〕	TOEIC L&R/S&W、 TOEFL iBT又はIELTS	[造形表現] (注5) [面接] (口頭試問を含む。)

〔注意〕 試験問題は、一般選抜と同一の問題を用いる。ただし、法学部の地理歴史は特別選抜独自の問題である。

- (注1)理科については各科目、基礎を付した科目(物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎)と基礎を付していない科目(物理、化学、生物、地学)をあわせて1科目とし、出題範囲は検討中。
- (注2)都市環境学部都市政策科学科の数学の出題範囲は検討中。
理学部、都市環境学部(都市政策科学科を除く)、システムデザイン学部の数学の出題範囲は検討中。
- (注3)学科が指定する外部英語検定試験を受験の上、出願期間までに本学へスコアが到着するよう手続きをすること。
- (注4)SAT Reasoning Test 又は ACT(+Optional Writing Test)を受験した者は出願期間までに本学へスコアが到着するよう手続きをすること。
国際バカロレア資格を取得した者は、出願期間までに本学へ成績評価証明書が到着するよう手続きをすること。
日本以外の国の大学入学資格試験又は統一試験を受験した者は、出願前に本学へ問い合わせること。
- (注5)インダストリアルアート学科の造形表現では、デッサン等を行う。試験当日は、黒鉛筆各種、消しゴム又は練り消しゴム、擦筆、羽根ぼうき、鉛筆削り(電動式は不可)、フィキサチーフ(定着液)及びクリップ2個以上(又はマスキングテープ)を持参すること。
なお、クリップは目玉クリップ又はバインダークリップのいずれでも可とする。

2028年度 特別選抜(私費外国人留学生)

日本留学試験における受験すべき教科・科目等

学部・学科等		教科	科目名等	科目別配点
人文社会学部	人間社会学科 人文学科 (2月実施)	日 本 語 総合科目 数 学	【3教科3科目】 日本語400点 その他の教科 各200点 コース指定なし	
	法学部 法学科 (2月実施)	日 本 語 総合科目 数 学	【3教科3科目】 日本語400点 その他の教科 各200点 コース指定なし	
経済経営学部	経済経営学科 【数学コース1】 (11月実施)	日 本 語 総合科目 数 学	【3教科3科目】 日本語300点 総合科目300点 数学100点 コース1	
	経済経営学科 【数学コース2】 (11月実施)	日 本 語 総合科目 数 学	【3教科3科目】 日本語300点 総合科目100点 数学300点 コース2	
理学部	数理科学科 (2月実施)	日 本 語 理 科 数 学	【3教科4科目】 物理、化学、生物から2科目選択 コース2 日本語400点 その他の教科 各200点	
	物理学科 (2月実施)	日 本 語 理 科 数 学	【3教科4科目】 物理(指定) 化学、生物から1科目選択 計2科目 コース2 日本語400点 その他の教科 各200点	
	化学科 (2月実施)	日 本 語 理 科 数 学	【3教科4科目】 化学(指定) 物理、生物から1科目選択 計2科目 コース2 日本語400点 その他の教科 各200点	
	生命科学科 (2月実施)	日 本 語 理 科 数 学	【3教科4科目】 物理、化学、生物から2科目選択 コース2 日本語400点 その他の教科 各200点	
学部・学科等		教科	科目名等	科目別配点
都市環境学部	建築学科 (2月実施)	日 本 語 理 科 数 学	【3教科3科目】 物理 コース2 日本語400点 その他の教科 各200点	
	環境応用 化学科 (2月実施)	日 本 語 理 科 数 学	【3教科4科目】 物理、化学(2科目指定) コース2 日本語400点 その他の教科 各200点	
	都市政策 科学科 (2月実施)	日 本 語 総合科目 数 学	【3教科3科目】 コース指定なし 日本語400点 その他の教科 各200点	
システムデザイン学部	情報科学科 (2月実施)	日 本 語 理 科 数 学	【3教科4科目】 物理、化学、生物から2科目選択 コース2 日本語400点 その他の教科 各200点	
	電気電子工学科 (2月実施)	日 本 語 理 科 数 学	【3教科4科目】 物理(指定) 化学、生物から1科目選択 計2科目 コース2 日本語400点 その他の教科 各200点	
	機械システム 工学科 (2月実施)	日 本 語 理 科 数 学	【3教科4科目】 物理(指定) 化学、生物から1科目選択 計2科目 コース2 日本語400点 その他の教科 各200点	
	航空宇宙 システム工学科 (2月実施)	日 本 語 理 科 数 学	【3教科4科目】 物理(指定) 化学、生物から1科目選択 計2科目 コース2 日本語400点 その他の教科 各200点	
	インダストリアル アート学科 (2月実施)	日 本 語 理 科 数 学	【3教科4科目】 物理、化学、生物から2科目選択 コース2 日本語400点 その他の教科 各200点	

- 日本留学試験の注意事項
- 1 出題言語は日本語とする。
 - 2 日本語の科目は、記述、読解、聴解・聴読解の3領域から構成される。ただし本学では、記述を除く得点を採用する。
 - 3 数学は、文系学部及び数学を必要とする程度が比較的少ない理系学部用のコース1と、数学を高度に必要とする学部用のコース2に分かれる。
 - 4 理科の配点は、各科目100点である(都市環境学部建築学科を除く。)
 - 5 都市環境学部建築学科の理科については、物理を含む2科目を受験すること。ただし本学の選抜には物理のみの得点を採用し、配点は200点とする。

2028年度私費外国人留学生入試

(大学入学資格試験・統一試験(日本以外)利用)(出願資格・選抜方法)

出願資格	
理学部 生命科学科	次の(1)のいずれかに該当し、かつ、(2)のいずれかに該当する外国人であって、さらに(3)の要件を満たす者 (1)① 外国において、正規の学校教育における12年の課程を修了(卒業)した者(2028年3月31日までに修了(卒業)見込みの者を含む。)【注1】及びこれに準ずる者【注2】 ② 外国において、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体^(※)の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了(卒業)した者(2028年3月31日までに修了(卒業)見込みの者を含む。)【注1】 (※)詳細は文部科学省ウェブサイト“(※6)国際的な評価団体認定外国人学校について”を参照してください。 ③外国において、次のいずれかの資格を取得した者(国際バカロレア資格については、2028年3月31日までに取得見込みの者を含む。) a. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を取得した者又は2028年3月31日までに取得見込みの者 b. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者 c. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者 d. グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格で、Aレベル3科目以上若しくはAレベル2科目とASレベル2科目の合計4科目を取得した者 e. 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を取得した者 ④ 上記①から③に準ずる学力を習得していると本学が認めた者で2028年3月31日までに18歳に達するもの (2)① 2026年4月1日以降実施の SAT Reasoning Test 又は ACT(+Optional Writing Test)を受験した者 ② 国際バカロレア資格(見込みを含む。)の取得において、6科目中に化学、生物、物理のいずれか2科目、及び数学を含んでいる者(レベルは問わない。) ③ 日本以外の国の大学入学資格試験又は統一試験を2023年以降に受験した者で、受験した試験の成績証明書及び試験に関する公的資料を提出できるもの。ただし、試験には化学、生物、物理等の理科に準ずる科目、及び数学を含んでいること。 なお、(3)③については、本学ウェブサイトにて「本学において認定した大学入学資格試験・統一試験一覧」を公表しております。一覧に掲載がない資格試験・統一試験で出願を希望する場合は出願前に本学アドミッション・センター(入試課)へ問い合わせてください。 (3) 2026年4月1日以降実施の TOEFL iBT 又は IELTS アカデミック・モジュールを受験した者 但し、TOEFL iBT Home Edition 及び IELTS Online は認めない。 【注1】日本の中学校及び高等学校又は中等教育学校^(※1)に在籍していた場合は、その期間が通算して3年以内であり、かつ、12年目の課程を外国の学校^(※2)で修了(卒業)した者に限り出願を認める。 (※1)外国に所在する日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校を含む。 (※2)外国の学校とは、外国に所在し、日本以外の国の正規の教育制度に準拠する学校又は国際的な評価団体の認定を受けた教育施設をいう。

2028年度私費外国人留学生入試
(大学入学資格試験・統一試験(日本以外)利用)(出願資格・選抜方法)

理学部 生命科学科	【注2】準ずる者とは、以下のいずれかに該当する者とする。 ① 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者で 2028 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの ② 正規の学校教育課程が 12 年に満たない国の高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者を含む。)で、文部科学大臣の指定する施設において日本の大学に入学するための準備教育課程を修了(2028 年 3 月 31 日までに修了見込みを含む。)したもの ③ 外国において、文部科学大臣が指定した 11 年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了(2028 年 3 月 31 日までに修了見込みを含む。)した者
選抜方法【2026 年 7 月 10 日変更分】赤字部分	
理学部 生命科学科	第1次選抜: 下記の書類により、書類選考を行う。 I .SAT Reasoning Test 又は ACT(+Optional Writing Test)のスコア、国際バカロレア最終試験のスコア(見込み点を含む。)、大学入学資格試験又は統一試験のスコア II .TOEFL iBT 又は IELTS のスコア III.Essay form(志望理由書) 第2次選抜: オンラインにより面接(口頭試問を含む。)を行う。 * 面接時の言語は英語とする。